

| 令和三年 |

# 全日本柔道 形 競技大会

<実施種目>

投の形・固の形・極の形・柔の形・  
講道館護身術・五の形・古式の形

日時：令和4年2月6日（日）

会場：講道館 大道場

主催：公益財団法人 講道館  
<http://www.kodokan.org/>

公益財団法人 全日本柔道連盟  
<http://www.judo.or.jp/>

好立地、アクセス抜群!

# 講道館の宿泊施設を ぜひご利用ください!!

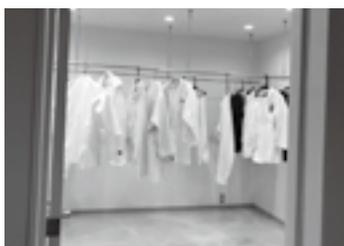
東京の中心・水道橋という好立地にある  
講道館国際柔道センター新館3階の宿泊施設は  
館員であればどなたでも利用可能です。  
講道館での合宿等はもちろん、  
プライベート、ビジネス利用を問わず、  
都内へお越しの際にはぜひご利用ください。



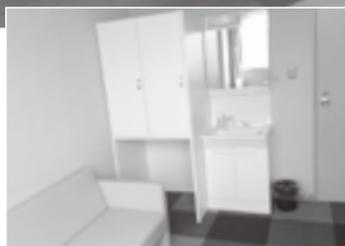
大部屋



大部屋和室



乾燥室



シングルルームの洗面台



特別シングルルーム



特別ツインルーム

## ■料金表

※税込価格

大部屋 (12人部屋) : 和室 1、2段ベッド部屋 4	5部屋 (内1部屋は女子専用)	1名1泊	3,300円
シングルルーム	16部屋	1名1泊	5,500円
特別シングルルーム (バス・トイレ付)	4部屋	1名1泊	7,700円
特別ツインルーム (バス・トイレ付)	2部屋	1室1泊	13,200円
ソファベッドご利用料金 (シングルルーム、特別シングルルーム、 特別ツインルームでご利用いただけます)		1名1泊	3,300円

※キャンセルポリシー

当日のキャンセルは宿泊料金の100%をいただきます。  
前日および2日前のキャンセルは宿泊料金の50%をいただきます。  
3日前までのキャンセルにはキャンセル料はかかりません。

お問い合わせ

(公財) 講道館 総務部 Tel.03-3811-7155 Fax.03-3818-3614



講道館

## 目次

大会要項 .....	2	柔の形 .....	11
大会役員・審査員 .....	3	講道館護身術 .....	12
講道館柔道形競技規定 .....	4	五の形 .....	13
講道館形競技規定に関する申し合わせ事項 .....	6	古式の形 .....	14
投の形 .....	8	見どころ .....	16
固の形 .....	9	入賞記録 .....	21
極の形 .....	10	世界大会記録 .....	32

# 令和3年全日本柔道形競技大会 要項

## 新型コロナウイルスの対応策について

標記大会では、無観客で開催し、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、会場に入場する選手等すべての入場者が健康記録表を提出することをお願い致します。これらの結果に基づき参加可否を判断致します。全日本柔道連盟主催大会は、「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針」に準拠し大会運営を行います。指針の最新版は、全柔連 HP (<https://www.judo.or.jp/news/503/>) に掲載しておりますので、大会に参加する皆様は、必ず事前にお日通しいただき、感染症対策を徹底したうえでのご参加をお願い致します。また、今後指針の更新に当たり、大会要項を変更する可能性があります。大会開催に向けて準備を進めておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、中止になる場合がございますので予めご了承ください。

## 1. 趣旨

講道館柔道において「形と乱取」「文法と作文」に例えられるように修行の一体をなしている。「形」「乱取」を修行することによって、勝負の理を体得し、修行の成果を得、柔道の奥義に進むことができる。特に「形」は柔道技術の基本形態の攻防の原理を学ぶ心身研磨の道である。

ここに、修行の意味を改めて認識し、「形」を通じて柔道の普及・振興を促進することを目指し、講道館柔道の「形」による競技大会を開催する。

## 2. 日時

令和4年2月6日(日) 開会 9:30 / 閉会 16:00 (予定)  
(午前の部) 投の形 極の形 講道館護身術 集合 9:00 6階学校道場  
(午後の部) 固の形 柔の形 五の形 古式の形 集合 12:00 6階学校道場

## 3. 会場

講道館大道場

## 4. 主催

公益財団法人講道館、公益財団法人全日本柔道連盟

## 5. 競技種目

①投の形 ②固の形 ③極の形 ④柔の形 ⑤講道館護身術 ⑥五の形 ⑦古式の形

## 6. 出場資格

### (1) 共通事項

- ア. 日本国籍を有する者で、講道館入門者であり全日本柔道連盟登録を行っていること。  
イ. 各種目ともに【地区枠】10組、【全国枠】最大3組、【推薦】3組の最大16組とし、1人1種目の出場とする。

### (2) 地区枠

- ア. 全国を構成する10地区からの予選等で選出された代表1組ずつとする。  
イ. 出場する地区において居住、勤務、在学の実体の伴ういずれかの条件を満たしていること。

### (3) 全国枠

令和3年4月24日に映像審査にて決定した組。

### (4) 推薦組

- ア. 令和元年全日本柔道形競技大会の優勝組(同じ形に出場する場合に限る)  
イ. 2019年世界形柔道選手権大会の優勝組(同じ形に出場する場合に限る)  
ウ. 2019年アジア形柔道選手権大会の優勝組(同じ形に出場する場合に限る)

## 7. 参加申込み

### 【地区枠】

- (1) 地区柔道連盟(連合会、協会)は、必要事項を記入した所定の選手名簿を本大会参加者が決定次第、全日本柔道連盟大会事務局に提出すること。  
(2) 参加者は、所定の申込書を全日本柔道連盟大会事務局(大会事務局)から取得するか全日本柔道連盟ホームページにアクセスし、1月12日(水)までに全日本柔道連盟大会事務局(大会事務局)に申し込むこと。  
(3) 申込み後の選手変更は、地区柔道連盟(連合会、協会)が、(1)の参加申込書に変更理由書(書式自由)を添えて1月21日(金)までに届け出ること。

### 【全国枠】

- (1) 所定の申込書を全日本柔道連盟大会事務局(大会事務局)から取得するか、全日本柔道連盟ホームページにアクセスし、1月12日(水)までに全日本柔道連盟大会事務局(大会事務局)に申し込むこと。

### 【推薦組】

- (1) 所定の申込書を全日本柔道連盟大会事務局(大会事務局)から取得するか、全日本柔道連盟ホームページにアクセスし、1月12日(水)までに全日本柔道連盟大会事務局(大会事務局)に申し込むこと。

## 8. 競技方法

教育普及・MIND委員会形部会作成の「講道館形競技規定に関する申し合わせ事項」(別紙参照)を追加して実施する。

## 9. 服装

柔道衣は白色のみを着用すること。柔道衣に関しては全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。紅帯、紅白帯は除く。演技中、規格外の柔道衣着用が判明した場合は失格とする。認証ラベルの色は、上衣、下穿のIJFラベル、全柔連認証番号ラベルは、共に赤のみ使用可とする。帯のIJFラベルは赤、青、全柔連認証番号ラベルは赤、黒共に使用可とする。黒帯は白線入り帯も可とする。

## 10. ゼッケン

下記の要領で背部にゼッケンを縫い付けること。

- (1) ゼッケンのサイズは縦25～30cm、横30～35cmとし、後襟から5～10cm下部に縫い付ける。  
(2) 地区代表選手は、ゼッケンの上部2/3に苗字、下部1/3に地区名を表記する。  
(3) 全国枠出場選手は、ゼッケンの上部2/3に苗字、下部1/3に「全国」と表記する。  
(4) 推薦出場選手は、ゼッケンの上部2/3に苗字、下部1/3に「推薦」と表記する。  
(5) 書体は太いゴシック体、または明朝体で男子は黒色、女子は赤色とする。

## 11. 競技順序抽選

1月21日(金)に主催者が行う。推薦組はシードされ、6番日以降に配置される。

## 12. 表彰

各種目の上位3組を表彰する。(午前の部と午後の部と分けて実施)

## 13. 審査員

審査員は、全日本柔道連盟公認審査員規定により、全日本柔道連盟教育普及・MIND委員会形部会が選考する。

## 14. 審査員会議

審査員会議を2月5日(土)15:00～17:00に行う。なお、模擬審査も会議とともに行う。(審査員の柔道衣は不要)

## 15. 経費

- (1) 参加する選手の交通費・宿泊費等の諸経費は、地区枠・全国枠・推薦出場を問わず、各自の負担とする。  
(2) 審査員の交通費・宿泊費等の諸経費は、主催者が負担する。

## 16. その他

- (1) 主催者は、選手の傷害保険に加入する。  
(2) 個人情報、肖像権の取り扱いについて  
参加申込用紙に記載された個人情報、競技結果、大会中に撮影された写真、または動画等の映像が、大会プログラム、競技会場内外の掲示板等、全柔連ホームページ、大会ホームページに掲載される場合がある。また、その他の報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。全柔連の許諾を受けたテレビ局等の企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。提出された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。参加申込用紙の提出により、個人情報、競技結果、肖像権についての上記取り扱い、及び下記の健康記録表の取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。  
(3) 健康記録表の提出について  
今大会では、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、会場に入場する競技者等すべての入場者が健康記録表を提出すること。本記録表は本大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的とする。本記録表に記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、来場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用する。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き本人の同意を得ずに第三者に提供しない。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要範囲で保健所等に提供することがある。  
(4) 新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、武器の貸出は行わない。

大会に関する問い合わせ及び参加申込書送付先

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館本館5F  
公益財団法人全日本柔道連盟 大会事務局(大会事務局) 大塚・渡辺・寺下・時田  
(TEL03-3818-4392 FAX 03-3812-3995 E-Mail taikai@judo.or.jp)

# 大会役員

(順不同)

名誉会長 上村 春樹  
会長 山下 泰裕  
副会長 鮫島 元成 / 野瀬 清喜  
名誉顧問 大澤 慶己  
顧問 全柔連 顧問 / 日本柔道整復師会 会長  
参与 講道館 理事・監事 / 講道館 評議員 / 講道館 柔道九段  
講道館大阪国際柔道センター長 / 講道館 部長・室長  
全柔連 理事・監事 / 全柔連 評議員 / 全柔連 代議員  
全柔連 参与 / 全柔連 事務局長  
全柔連 専門委員会委員長 / 都道府県 会長  
実柔連・学柔連 会長 / 日本柔道整復師会 副会長  
大会委員長 中里 壮也  
大会副委員長 松井 勲 / 高橋 進 / 西田 孝宏 / 郷田 博史 / 高山 健  
大会委員 講道館 道場参与 / 全柔連 専門委員会副委員長  
講道館 指導員・講師・校医 / 講道館 大阪国際柔道センター指導員  
日本柔道整復師会 常務理事

# 審査員

■ 投の形 向井 幹博(東京) 山本 良(三重) 川原 久乃(埼玉) 原田 新一(東京)  
細貝 昭吾(群馬)

■ 固の形 山本三四郎(東京) 中橋 政彦(香川) 江波戸友子(栃木) 関山 民男(埼玉)  
室田 次朗(神奈川)

■ 極の形 道場 良久(東京) 今尾 省司(岐阜) 眞喜志慶治(東京) 濱名三代子(神奈川)  
南保 徳双(東京)

■ 柔の形 平野 弘幸(東京) 内海まゆみ(東京) 江川 修(千葉) 齋院志津子(神奈川)  
小貫 道子(茨城)

■ 講道館護身術 榎 義治(東京) 濱名 智男(神奈川) 竹渕 典子(埼玉) 稲川 郁子(静岡)  
大島 修次(千葉)

■ 五の形 宗 義明(神奈川) 佐藤伸一郎(東京) 毛利 修(東京) 山口 正伸(神奈川)  
藤川 進(群馬)

■ 古式の形 宇津木俊博(東京) 植草 忠(千葉) 堀内 安定(埼玉) 須長 悌治(東京)  
菅波 盛雄(東京)

# 講道館柔道形競技規定

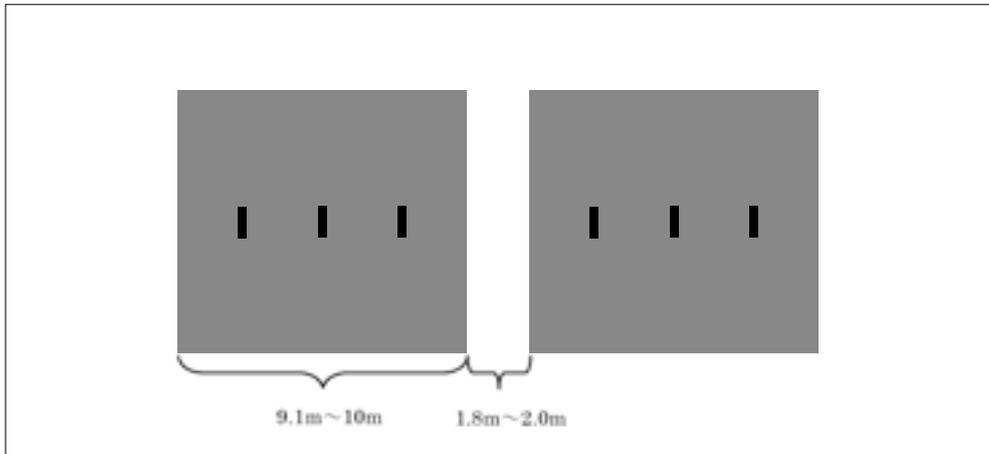
公益財団法人 全日本柔道連盟

## 第1条 形の種類

形の種類は、講道館の制定する投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形、及び古式の形とし、講道館の発行する最新版の教本、及び DVD 映像で規定する動作を基準とする。

## 第2条 試合場

1. 試合場は原則として最小限 14 m×14 m、最大限 16 m×16 mとし、この中央に最小 9.1 m（五間）×9.1 m、最大 10 m×10 mの場内を設け、畳又はこれに類するものを敷き詰める。
2. 取と受が演技の始めと終わりに立礼又は坐礼をする位置を示すために、下図のとおり試合場の中央 5.5m～6m 離れた場所に、幅約 10cm、長さ約 50cm の色のついた粘着テープを付ける。
3. 試合場の中央にも下図のとおり同色の粘着テープを配置する。
4. 試合場の床は弾力性がなければならず、隣接して試合場を設置する場合、下図のとおり 1.8 m～2 m の共通する安全地帯を設ける。



## 第3条 得点表示

演技者（組）の得点は、会場の適切な場所に速やかに表示する。

## 第4条 服装

柔道衣および帯は、全日本柔道連盟柔道衣規格に合格しているものでなくてはならない。ただし、紅帯、紅白帯はその限りでない。

## 第5条 衛生及び危害防止

演技者（組）は清潔な柔道衣を着用し、爪を短く切ること。また金属その他相手に危険を及ぼすようなものは身に付けてはならない。長髪の場合は、動作の妨げにならないように束ねること。

## 第6条 演技順序

演技の順序は抽選で決定する。

## 第7条 審査及び審査員

1. 審査は、一種目の形を、その種目の全日本柔道連盟公認形審査員 5 名で行う。
2. 審査員は、評価した点数を公式採点票に明記する。
3. 審査する位置は、原則として正面側とし、審査員は 1 m の間隔をあけて審査員席に着く。但し、場合によっては審査する位置を変えることができる。
4. 審査員は、各組が試合場に入る前に、決められた席に着いていなければならない。
5. 審査員が着席する位置は、その種目が終了するまで変えないものとする。
6. 主任の審査員は、立って両掌を上にして両腕を前方へ伸ばし、演技者（組）を試合場へ進むよう指示する。
7. 審査員の服装は、大会の規定によるものとし、公認のネクタイ及びエンブレムをつけるものとする。
8. 本連盟教育普及・MIND 委員会形部会は、審査員の管理、監督等を行う。

## 第8条 審査方法

1. 演技者（組）による演技（礼法・服装、技の内容、全体の流れ）を審査する。
2. 10 点満点で評価する。
3. 1 回のみ演技を審査する。
4. 各演技における 5 人の審査員の評点のうち、最高点と最低点を除いた 3 人の審査員の評点の合計（小計）をその演技の得点とする。最高点又は最低点が複数（例：7, 7, 6, 6, 6）あった場合、除く点はそれぞれ 1 つとする（例：7 を 1 つ、6 を 1 つ除く。この場合は、7 + 6 + 6 = 19 点はその組の得点となる）。

5. 順位は以下の順に従って決める。
  - (1) 各評価項目の得点を合計し（=合計点という）、その高い方を上位とする。
  - (2) 合計点が同点の場合
    - 1) 各評価項目の評点（=最高点と最低点を除いた評点）を見て、より低い評点のある方を下位とする。
    - 2) 同内容の場合、1) のより低い評点の個数の多い方を下位とする。
    - 3) 同内容の場合、各評価項目の評点（=最高点と最低点を除いた評点）を見て、より高い得点のある方を上位とする。
    - 4) 同内容の場合、3) のより高い評点の個数の多い方を上位とする。
    - 5) それでも同内容の場合、同位とする。
6. 得点は合計点と100点換算（小数点第2位以下切り捨て）の2つを表示する。

## 第9条 審査基準

1. 審査員は、下記の内容を参考にして総合的に評価をする。
  - (1) 礼法・服装
 

礼法	立礼、坐礼、姿勢、目付、呼吸等
服装	服装の乱れ、帯・紐の解け等
  - (2) 技の内容
 

基本動作	基本動作、姿勢、態度、組み方、進退動作、体捌き、受身等
技の理合い	正確度（崩し・作り・掛け）、緩急、強弱、気迫、迫真性、順序受身等
位置の取り方	位置、相手との間合い等
  - (3) 全体的な流れ
 

	リズム、テンポ、調和等
--	-------------
2. 評価の判断基準
 

評価の判断基準は、次のとおりとし、0.5点刻みにて評価する。

  - (1) 非常に優れている 9点～10点
  - (2) 優れている 7点～8.5点
  - (3) 普通である 5点～6.5点
  - (4) 劣る 3点～4.5点
  - (5) 非常に劣る 0.5点～2.5点
3. 間違いがあった場合の評点について
  - (1) 次の場合は合計点を2分の1とする。
    - 1) やり直した場合、その技及び全体の流れの評価はそれぞれ4.5点を最高点とする。
    - 2) 武器を落とした場合、その技及び全体の流れの評価はそれぞれ4.5点を最高点とする。
  - (2) 評価項目以外の技を演技した場合、その技は0点とする。

## 第10条 失格

1. 第4条、第5条等に違反した場合。
2. 演技者（組）が施技の順序を間違えた場合、及び技を抜かした場合においては、演技を中断せず、その組の演技終了後に、審査員が合議し、適切に処理する。

## 第11条 負傷／病気等の発生（安全への配慮）

1. 演技者（組）において、演技中、怪我又は病気等が発生した場合、審査員は原則として直ちに演技を中止させ、記録は「棄権」とする。
2. 演技者（組）が演技中においてコンタクトレンズを落とした場合、審査員が演技を続けられないと認める場合には直ちに演技を中止させ、記録は「棄権」とする。

## 第12条 抗議の禁止

審査員による審査結果は絶対であり、異議の申し立ては認められない。

## 第13条 その他

本規定に定められていない事態が発生した場合、審査員は、大会委員長と合議の上、処理する。

## 第14条 改廃

本規定の改廃は、教育普及・MIND委員会形部会で検討し、理事会の承認を得て行うものとする。

## 附則

1. 本規定は平成25年4月1日から施行する。
2. 本規定は平成26年6月16日から一部改正して施行する。
3. 本規定は平成27年4月1日から一部改正して施行する。
4. 本規定は平成29年6月9日から一部改正して施行する。
5. 本規定は令和2年8月18日から一部改正して施行する。

# 講道館形競技規定に関する申し合わせ事項

## 形部会

### I 演技の評価

1. 間違いが演技の一部であり許容できる場合は、「劣る」あるいは「非常に劣る」(4.5～0.5)を与える。
2. 演技として本来あるべき要件や性質が欠けている場合は、評価項目「技」、「全体の流れ」の両方に「劣る」あるいは「非常に劣る」(4.5～0.5)を与える。さらに集計担当者は合計点を半減する。
3. “本来あるべき要件や性質が欠けている”とは、攻撃部位や極める技が異なる、投げる方向が明らかに異なる、など理合いから大きく外れる場合を指す。
4. 当身や武器が実際に相手に当たった場合は、「劣る」あるいは「非常に劣る」(4.5～0.5)を与える。過度と判断される場合は、2の場合に準じて総点を半減する。

### II やり直し

#### 1. 順序

##### (1) 定義

本来の順番でない技を行なうか、あるいは途中で間違いに気づき、本来の技を始める。

##### (2) 事例

##### ① 投の形

「浮腰」の次に「払腰」を抜き「釣込腰」を演技し、「払腰」からやり直すか、あるいは「浮腰」の次に「釣込腰」をし始めたが、途中で「払腰」に戻って演技した場合。

##### ② 固の形

「裸絞」の次に「送襟絞」を抜き「片羽絞」を演技し、「送襟絞」からやり直すか、あるいは「裸絞」の次に「片羽絞」をし始めたが、途中で「送襟絞」に戻って演技した場合。

##### ③ 極の形

「突掛」の次に「突上」を抜き「摺上」を演技し、「突上」からやり直すか、あるいは「突掛」の次に「摺上」をし始めたが、途中で「突上」に戻って演技した場合。

##### ④ 柔の形

「胸押」の次に「突上」を抜き「打下」を演技し、「突上」からやり直すか、あるいは「胸押」の次に「打下」をし始めたが、途中で「突上」に戻って演技した場合。

##### ⑤ 講道館護身術

「両手取」の次に「左襟取」を抜き「右襟取」を演技し、「左襟取」からやり直すか、あるいは「両手取」の次に「右襟取」をし始めたが、途中で「左襟取」に戻って演技した場合。

##### ⑥ 五の形

順番の間違いは想定できない。

##### ⑦ 古式の形

「水流」の次に「曳落」を抜き「虚倒」を演技し、「曳落」からやり直すか、あるいは「水流」の次に「虚倒」をし始めたが、途中で「曳落」に戻って演技した場合。

#### (3) 採点票の事例

1) 1つ抜かして、そのまま本来の順序で終わりまで演技した場合。

⑤番目の欄に⑤ではない技、⑥が行われたとき。⑤欄は「0」。⑥番目の欄に⑦の技が行われたら、⑥欄には、「0」。審査員は単純に実施番号の評価欄に妥当な技が行われたかどうかを判断する。

技名称		評点	間違いの有無	演技内容
腰 技	⑤ 払 腰	0	抜かす	⑥
	⑥ 釣込腰	0	別の技	⑦
足 技	⑦ 送足払	0	別の技	⑧
	⑧ 支釣込足	0	別の技	⑨

2) 1つ抜かしてから気づいて、抜かした技からやり直した場合。

⑤番目の欄に⑤ではない技、たとえば⑥が行われたとき。⑤欄は「0」。次の⑥番目の欄に⑤の技が行われたら、順序間違えとして⑥欄は「0」。⑦番目の欄に⑥の技が行われたら、⑦欄は「0」。

技名称		評点	間違いの有無	演技内容
腰 技	⑤ 払 腰	0	抜かす	⑥
	⑥ 釣込腰	0	別の技	⑤
足 技	⑦ 送足払	0	別の技	⑥
	⑧ 支釣込足	0	別の技	⑦

- 3) 2つ抜かして演技して気づき、抜かした技から順にやり直した場合。  
 ⑤番目の欄に⑤ではない技、たとえば⑦が行われたとき。⑤欄は「0」。  
 ⑥番目の欄に⑥ではない技、⑤が行われたので⑥欄は「0」。⑦番目の欄に⑥の技が行われたら、⑦欄は「0」。

技名称		評点	間違いの有無	演技内容
腰 技	⑤ 払 腰	0	抜かず	⑦
	⑥ 釣込腰	0	別の技	⑤
足 技	⑦ 送足払	0	別の技	⑥
	⑧ 支釣込足	0	別の技	⑦

注)「間違いの有無」欄への記入は、メモ程度も可とする。この事例の“別の技”は便宜上使用している。

## 2. 位置

### (1) 定義

各技本来の位置取りを行わず演技したり、一旦決めた位置を修正する。

### (2) 事例

#### ① 投の形

次の技の位置でないところに立ち止まり、その後移動して本来の位置に立った場合。

#### ② 固の形

取が近間から間違っで遠間に退いた場合。

#### ③ 極の形

受が「横打」で約90センチメートルで相対し、間違いに気づき遠間に移動した場合。

#### ④ 柔の形

「打下」で約1歩の間合いで相対し、間違いに気づき約2歩の間合いに移動した場合。

#### ⑤ 講道館護身術

間違えて反対側に立ってから、気づいて本来の位置についた場合。

#### ⑥ 五の形

3本目が終わって、取と受の位置が逆のまま、4本目を始めた場合。

#### ⑦ 古式の形

間違えて反対側に立ってから、気づいて本来の位置についた場合。

## 3. 動作

### (1) 定義

各技本来の動作を行わず、途中で本来の動作を行う。

### (2) 事例

#### ① 投の形

「払腰」の動作で受の脇に手を差し入れるところを行わず、途中で間違いに気づき本来の動作を行った場合。

#### ② 固の形

取が受の腕を持ち上げた後に、戻した場合。

受が右手で取の襟を取ろうとしたが、途中で間違いに気づき、左手で本来の動作を行った場合。

#### ③ 極の形

当身等で攻撃の準備動作に入ったと認められる動作（実は他の技の動作）を、本来の技の攻撃準備動作に修正して施したと認められる場合。

#### ④ 柔の形

「肩廻」で受が取の体を左へ回す動作をするところ両手を上方に挙げ、途中で間違いに気づき本来の動作を行った場合。

#### ⑤ 講道館護身術

「顎突」で、取が受の手首を掴み損ね、再度本来の動作を行った場合。

#### ⑥ 五の形

「一本目」で取が受を後方へ押し崩すため左足から進み出し、途中で間違いに気づき本来の動作を行った場合。

#### ⑦ 古式の形

「水流」で受が左手で襟を掴みに行くところ右手で掴みに行き、途中で間違いに気づき本来の動作を行った場合。

# 投の形

## 1 北海道

取

一戸 勇人  
イチノヘ ハヤト  
(32)

五段：  
北海道警察



受

本保 孝人  
ホンボ タカヒト  
(37)

五段：  
北海道警察



## 6 近畿

取

吉川 延寿  
ヨシカワ ノブヒサ  
(39)

六段：  
大阪府警察



受

北口 嘉一  
キタグチ カイチ  
(37)

五段：  
大阪府警察



## 2 東北

取

高谷 明  
タカヤ アキラ  
(43)

四段：  
藤崎町柔道協会



受

對馬 祥満  
ツシマ ヨシミツ  
(34)

二段：  
藤崎町柔道協会



## 7 九州

取

山野 修  
ヤマノ オサム  
(49)

五段：  
坂元中学校



受

古賀 陽佑  
コガ ヨウスケ  
(33)

五段：  
西陵中学校



## 3 関東

取

門倉 由堯  
カドクラ ヨシタカ  
(17)

初段：  
前橋商業高校



受

田村 翼冴  
タムラ ツバサ  
(17)

初段：  
順道館櫻井道場



## 8 推薦

取

赤坂 洋輔  
アカサカ ヨウスケ  
(44)

六段：  
警視庁



受

若菜 大介  
ワカナ ダイスケ  
(42)

六段：  
警視庁



## 4 北信越

取

鹿嶋 拓郎  
カシマ タクロウ  
(37)

四段：  
都市環境緑化・胎内市柔道連盟



受

三浦 寛  
ミウラ ヒロシ  
(37)

五段：  
胎内市役所・胎内市柔道連盟



## 9 全国枠

取

富田 誠  
トミタ マコト  
(22)

三段：  
日本文化大学



受

五十嵐 海斗  
イカラシ カイト  
(21)

三段：  
日本文化大学



## 5 東海

取

鵜飼 沙千  
ウカイ サチ  
(38)

三段：  
牧田薬師店・誠心館多治見柔道倶楽部



受

森下 美加  
モリシタ ミカ  
(43)

三段：  
恵那市社会福祉協議会・恵那市柔道協会



# 固の形

## 1 北海道

取

葉名尻 亘  
ハナジリ ワタル  
(37)

五段：  
はなじり鍼灸整骨院



受

山本 良太郎  
ヤマモト リョウタロウ  
(38)

五段：  
やまもと整骨院



## 6 近畿

取

芦田 和典  
アシダ カズノリ  
(55)

七段：  
大阪府警察



受

入江 浩正  
イリエ ヒロマサ  
(53)

六段：  
森ノ宮医療学園  
専門学校



## 2 東北

取

川口 洋平  
カワグチ ヨウヘイ  
(43)

五段：  
川口整骨院



受

打川 禎  
ウチカワ タダシ  
(43)

四段：  
秋田中央農材



## 7 四国

取

花房 良祐  
ハナフサ リョウスケ  
(30)

三段：  
香川県庁



受

岡田 拓也  
オカダ タクヤ  
(32)

三段：  
TSネットワーク



## 3 関東

取

久家 浩  
クヤ ヒロシ  
(59)

六段：  
大尚



受

遠藤 憲昭  
エンドウ ノリアキ  
(48)

五段：  
サンワ環境開発



## 8 推薦

取

下野 龍司  
カバタ リュウジ  
(38)

五段：  
京都文教高校



受

大館 斗志爾  
オオダテ トシジ  
(36)

四段：  
藤森中学校



## 4 北信越

取

多田 政史  
タダ マサフミ  
(49)

五段：  
富士薬品



受

鷹取 慎也  
タカトリ シンヤ  
(45)

五段：  
北陸検査



## 9 推薦

取

中山 智史  
ナカヤマ サトシ  
(44)

五段：  
中山接骨院



受

林 聖治  
ハヤシ セイジ  
(44)

五段：  
三橋接骨院



## 5 東海

取

木之本 達明  
キノモト タツアキ  
(60)

五段：  
木之本接骨院



受

大元 美久  
オオモト ヨシヒサ  
(52)

三段：  
大元接骨院



## 10 全国枠

取

小川 琢磨  
オガワ タクマ  
(48)

三段：  
武里柔道クラブ



受

安井 清博  
ヤスイ キヨヒロ  
(69)

六段：  
医療法人雄達会



# 極の形

## 1 北海道

取

中澤 伸一  
ナカザワ シンイチ  
(53)

七段：  
なかざわ



受

中澤 正  
ナカザワ タダシ  
(50)

六段：  
北見商業高校



## 6 近畿

取

大門 義明  
ダイモン ヨシアキ  
(37)

五段：  
奈良県警察



受

北山 勲  
キタヤマ イサオ  
(42)

五段：  
奈良県警察



## 2 東北

取

向井 知成  
ムカイ トモナリ  
(46)

五段：  
岩手県柔道連盟・  
久慈市社会福祉協議会



受

松坂 匡  
マツザカ タダシ  
(46)

五段：  
岩手県柔道連盟・  
久慈広域連合洋野消防署



## 7 中国

取

花本 隼  
ハナモト ハヤト  
(36)

五段：  
島根県警察



受

山崎 敦嗣  
ヤマサキ アツシ  
(35)

五段：  
島根県警察



## 3 関東

取

坂本 泰男  
サカモト ヤスオ  
(50)

四段：  
埼玉縣信用金庫



受

神山 誠二  
カミヤマ セイジ  
(46)

五段：  
かみやま接骨院



## 8 四国

取

上岡 慎二  
カミオカ シンジ  
(52)

五段：  
三業商事



受

溝渕 充  
ミゾフチ ミツル  
(51)

五段：  
岡本荘



## 4 北信越

取

中平 義仁  
ナカダイラ ヨシヒト  
(44)

四段：  
中部公衆医学研究所



受

原 和男  
ハラ カズオ  
(55)

五段：  
カットスタジオ髪技



## 9 推薦

取

竹石 憲治  
タケイシ ケンジ  
(53)

六段：  
警視庁



受

植松 恒司  
ウエマツ コウジ  
(53)

七段：  
警視庁



## 5 東海

取

羽生 裕司  
ハニユウ ヒロシ  
(43)

五段：  
滝高校



受

鈴木 健太郎  
スズキ ケンタロウ  
(43)

五段：  
すずき整形外科

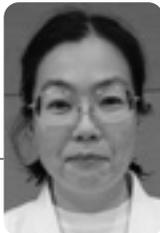


## 1 北海道

取

小野田 智子  
オノダ トモコ  
(52)

四段：



受

吉野 令欧奈  
ヨシノ レオナ  
(42)

四段：  
二条小学校



## 6 近畿

取

浦田 友和  
ウラタ トモカズ  
(47)

六段：  
大阪府警察



受

高橋 憲司  
タカハシ ケンジ  
(36)

五段：  
大阪府警察



## 2 東北

取

伊藤 和範  
イトウ カズノリ  
(52)

五段：  
日本郵便



受

小松 末子  
コマツ スエコ  
(65)

三段：  
カワイ加工



## 7 中国

取

遠藤 珠央  
エンドウ タマオ  
(45)

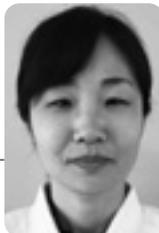
三段：  
岡山県柔道連盟



受

丸濱 亜希子  
マルハマ アキコ  
(38)

二段：  
岡山県警察



## 3 関東

取

菅 琳華  
スガ リンカ  
(18)

二段：  
川口市立高校



受

川原 輝子  
カワハラ アキコ  
(17)

二段：  
埼玉栄高校



## 8 推薦

取

石田 桃子  
イシダ モモコ  
(32)

四段：  
米田柔整専門学校



受

石田 真理子  
イシダ マリコ  
(28)

三段：  
米田柔整専門学校



## 4 北信越

取

松村 和重  
マツムラ カズシゲ  
(36)

四段：  
北越たばこ耕作組合



受

近 匠実  
コン タクミ  
(49)

四段：  
近塗装工業



## 9 全国枠

取

森本 真夫  
モリモト マサオ  
(51)

四段：  
三菱ケミカル



受

坂巻 敏史  
サカマキ サトシ  
(55)

五段：  
三菱UFJトラスト  
投資工学研究所



## 5 東海

取

竹澤 毅朗  
タケザワ タカアキ  
(45)

五段：  
竹澤治療院



受

内田 みゆき  
ウチダ ミユキ  
(47)

三段：  
梅原歯科



## 10 全国枠

取

大島 彩海  
オオシマ アヤミ  
(22)

三段：  
平成国際大学



受

松葉 ひより  
マツバ ヒヨリ  
(22)

三段：  
平成国際大学





# 講道館護身術

## 1 北海道

取

瀧谷 仁  
タキヤ ヒトシ  
(57)



六段：  
陵北中学校

受

川村 浩智  
カワムラ ヒロトモ  
(56)



六段：  
札幌山の手高校

## 6 近畿

取

上坂 正語  
ウエサカ ショウゴ  
(39)



六段：  
大阪府警察

受

池田 広樹  
イケダ ヒロキ  
(36)



五段：  
大阪府警察

## 2 東北

取

長澤 英胤  
ナガサワ ヒデアツグ  
(45)



五段：  
盛岡中央高校

受

久保田 剛  
クボタ ツヨシ  
(38)



五段：  
盛岡中央高校

## 7 四国

取

長野 秀紀  
ナガノ ヒデアキ  
(44)



五段：  
豊中中学校

受

中野 智史  
ナカノ サトシ  
(33)



五段：  
尽誠学園高校

## 3 関東

取

松澤 蕉市  
マツザワ ショウイチ  
(53)



六段：  
まつさわ整骨院

受

松澤 嘉信  
マツザワ ヨシノブ  
(52)



四段：  
やすらぎ整骨院

## 8 九州

取

崎原 永克  
サキハラ エイカツ  
(61)



七段：  
沖縄西濃運輸

受

伊志嶺 朝広  
イシミネ トモヒロ  
(46)



六段：  
アスリートクラブ琉9

## 4 北信越

取

長田 康秀  
ナガタ ヤスヒデ  
(41)



六段：  
ながた接骨院

受

辻野 祐紀  
ツジノ マサノリ  
(52)



五段：  
マックスシステム

## 9 推薦

取

池田 孝生  
イケダ コウオ  
(41)



六段：  
警視庁

受

酒巻 文孝  
サカマキ フミタカ  
(42)



六段：  
警視庁

## 5 東海

取

鈴木 清仁  
スズキ キヨヒト  
(45)



六段：  
石清鈴木石材工業

受

曾根 由多  
ソネ ヨシカズ  
(49)



六段：  
牧之原市役所

# 五の形

## 1 東北

取

佐藤 光磨  
サトウ ミツマロ  
(65)



六段：  
弘前市役所

受

対馬 勝美  
ツシマ カツミ  
(61)



七段：  
飛鳥建設

## 6 推薦

取

市川 洋文  
イチカワ ヒロフミ  
(51)



六段：  
横浜市役所

受

山崎 正義  
ヤマザキ マサヨシ  
(55)



七段：  
神奈川県警察

## 2 関東

取

鈴木 常夫  
スズキ ツネオ  
(66)



七段：  
鈴木商事

受

天野 脩平  
アマノ シュウヘイ  
(36)



四段：  
横浜刑務所

## 3 北信越

取

保科 匠吾  
ホシナ ショウゴ  
(56)



六段：  
砺波市柔道会

受

小西 康夫  
コニシ ヤスオ  
(57)



五段：  
砺波市柔道会

## 4 東海

取

杉山 康弘  
スギヤマ ヤスヒロ  
(56)



六段：  
黒柳建設

受

大河内 哲志  
オオコウチ テツシ  
(58)



六段：  
おおこうち接骨院

## 5 近畿

取

中山 将男  
ナカヤマ マサオ  
(37)



五段：  
大阪府警察

受

山口 陽平  
ヤマグチ ヨウヘイ  
(33)



五段：  
大阪府警察

# 古式の形

## 1 東北

取

丹野 清一郎  
タンノ セイイチロウ  
(69)

八段：



受

佐藤 有功  
サトウ ユウコウ  
(62)

七段：  
宮城県工業高校



## 6 中国

取

田村 吉永  
タムラ ヨシヒサ  
(54)

七段：  
岡山県警察



受

香川 義篤  
カガワ ヨシアツ  
(40)

五段：  
岡山県警察



## 2 関東

取

広木 訓夫  
ヒロキ ノリオ  
(70)

六段：  
梁山泊



受

綱川 貴俊  
ツナカワ タカトシ  
(37)

五段：  
栃毛木材工業



## 7 推薦

取

中西 英敏  
ナカニシ ヒデトシ  
(63)

八段：  
東海大学



受

松本 勇治  
マツモト ユウジ  
(48)

七段：  
神奈川県警察



## 3 北信越

取

齋藤 英二  
サイトウ エイジ  
(60)

七段：  
新津南高校



受

吉田 幸一  
ヨシダ コウイチ  
(59)

六段：  
日本曹達



## 8 全国枠

取

佐橋 哲隆  
サハシ テツリュウ  
(79)

六段：



受

近藤 英一郎  
コンドウ エイイチロウ  
(61)

五段：  
近藤歯科医院



## 4 東海

取

太田 成彦  
オオタ シゲヒコ  
(69)

七段：  
南伊勢高校



受

内村 秀一  
ウチムラ ヒデカズ  
(62)

八段：  
三重県信用保証協会



## 9 全国枠

取

掛札 均  
カケフダ ヒトシ  
(73)

八段：



受

小池 健三  
コイケ ケンゾウ  
(73)

六段：  
本富士交通安全協会



## 5 近畿

取

松本 健彦  
マツモト タケヒコ  
(48)

六段：  
大阪府警察



受

大坪 俊裕  
オオツボ トシヒロ  
(44)

六段：  
大阪府警察



## 10 全国枠

取

木下 勝己  
キノシタ カツミ  
(68)

六段：



受

見原 道生  
ミハラ ミチオ  
(73)

八段：  
見原整骨院



私たちは全日本柔道連盟を応援しています

年間スポンサー 一覧

 **東建コーポレーション**



# 投の形

投の形は、投技の理合いを理解・体得させるために、手技・腰技・足技・真捨身技・横捨身技の各々から、その代表的な技を選んで構成されています。

各技ともに右技、左技の双方を練習するようになっており、どのように崩し・作り・掛け、また、いかに受けるか等、投技の基本を学びます。

## 手 技

浮 落 (うきおとし)  
背 負 投 (せおいなげ)  
肩 車 (かたぐるま)

## 腰 技

浮 腰 (うきごし)  
払 腰 (はらいごし)  
釣 込 腰 (つりこみごし)

## 足 技

送 足 払 (おくりあしはらい)  
支 釣 込 足 (ささえつりこみあし)  
内 股 (うちまた)

## 真捨身技

巴 投 (ともえなげ)  
裏 投 (うらなげ)  
隅 返 (すみがえし)

## 横捨身技

横 掛 (よこがけ)  
横 車 (よこぐるま)  
浮 技 (うきわざ)



# 固の形

固の形は、固技の理合いを理解・体得させるために、抑込技・絞技・関節技の各々から代表的な技を選んで構成されています。

各技について、固め方の要点や応じ方等を学びます。

## 抑込技

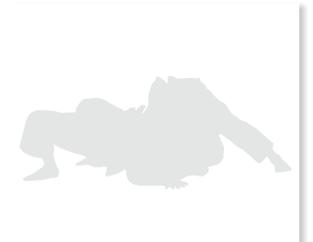
袈 裟 固 (けさがため)  
肩 固 (かたがため)  
上 四 方 固 (かみしほうがため)  
横 四 方 固 (よこしほうがため)  
崩上四方固 (くずれかみしほうがため)

## 絞 技

片 十 字 絞 (かたじゅうじじめ)  
裸 絞 (はだかじめ)  
送 襟 絞 (おくりえりじめ)  
片 羽 絞 (かたはじめ)  
逆 十 字 絞 (ぎゃくじゅうじじめ)

## 関節技

腕 緘 (うでがらみ)  
腕 挫 十 字 固 (うでひしぎじゅうじがため)  
腕 挫 腕 固 (うでひしぎうでがため)  
腕 挫 膝 固 (うでひしぎひざがため)  
足 緘 (あしがらみ)



# 極の形

極の形は、真剣勝負の形とも言われ、攻撃防御の方法を習得させるために作られました。

徒手あるいは刀による攻撃に対し、投技・固技に当身技を加えて対応する方法を練習することによって、俊敏な体捌きと最も適切な極め方を学びます。

## 居 取 (いどり)

両手取 (りょうてどり)  
突 掛 (つっかけ)  
摺 上 (すりあげ)  
横 打 (よこうち)  
後 取 (うしろどり)  
突 込 (つっこみ)  
切 込 (きりこみ)  
横 突 (よこつき)

## 立 合 (たちあい)

両手取 (りょうてどり)  
袖 取 (そでとり)  
突 掛 (つっかけ)  
突 上 (つきあげ)  
摺 上 (すりあげ)  
横 打 (よこうち)  
蹴 上 (けあげ)  
後 取 (うしろどり)  
突 込 (つっこみ)  
切 込 (きりこみ)  
抜 掛 (ぬきがけ)  
切 下 (きりおろし)



# 柔の形

柔の形は、柔よく剛を制すの理合いを教え、体の運用・勝負の法を会得するために作られました。

この形は、老若男女の別なく、場所や服装も限定されずに行うことができる形であり、柔らかく静かなかたちで攻防の理合いを学びます。

## 第一教

突 出 (つきだし)  
肩 押 (かたおし)  
両手取 (りょうてどり)  
肩 廻 (かたまわし)  
腮 押 (あごおし)

## 第二教

切 下 (きりおろし)  
両肩押 (りょうかたおし)  
斜 打 (ななめうち)  
片手取 (かたてどり)  
片手拳 (かたてあげ)

## 第三教

帯 取 (おびとり)  
胸 押 (むねおし)  
突 上 (つきあげ)  
打 下 (うちおろし)  
両眼突 (りょうがんつき)



# 講道館護身術

講道館護身術は、1956（昭和31年）に新たな「形」の一つとして考案したものです。日常生活の中で起こりうる様々な危害から身を護ることを目的として、柔道の技の中からこれに対応する技術を選んで一連の攻防法として組み立てられており、実践的な技術を学びます。

## 徒手の部

### 1. 組みつかれた場合

- 両手取（りょうてどり）
- 左襟取（ひだりえりどり）
- 右襟取（みぎえりどり）
- 片腕取（かたうでどり）
- 後襟取（うしろえりどり）
- 後絞（うしろじめ）
- 抱取（かかえどり）

### 2. 離れた場合

- 斜打（ななめうち）
- 顎突（あごつき）
- 顔面突（がめんつき）
- 前蹴（まえげり）
- 横蹴（よこげり）

## 武器の部

### 1. 短刀の場合

- 突掛（つっかけ）
- 直突（ちよくつき）
- 斜突（ななめつき）

### 2. 杖（じょう）の場合

- 振上（ふりあげ）
- 振下（ふりおろし）
- 双手突（もろてつき）

### 3. 拳銃の場合

- 正面付（しょうめんづけ）
- 腰構（こしがまえ）
- 背面付（はいめんづけ）



# 五（いつつ）の形

五の形は、天地自然の現象を柔道の動きで表したものです。高尚に表現された理合いを芸術的な動作で体現することにより、柔よく剛を制すの理合いを学びます。

## 一本目

小さな力でも合理的に間断なく攻め続けられ、遂には大きな力をも制する理の表現。

## 二本目

強大な攻撃に対し、その力をそのまま利用して制する理の表現。

## 三本目

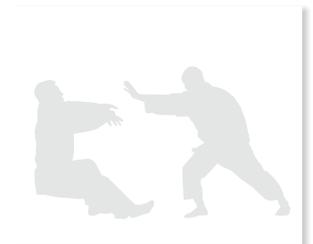
渦潮の内円が外円を制する理の表現。

## 四本目

大波が岸辺に打ち寄せ、何物をも呑み込んで引き返す理の表現。

## 五本目

正面から打ち寄せる大波に直面し、一瞬、身を捨ててこそ浮かぶ瀬もある理の表現。  
（宇宙の現象を表現したとの説もある）



# 古式の形

古式の形は、起倒流柔術の流れを汲み、  
 武士が鎧甲冑を身につけた際の組打の投  
 技を主としたものであり、表と裏から組  
 み立てられています。

表は、心を平静にして荘重優雅、一挙  
 一動に攻撃防御を正確に表し、裏は、敏  
 速果敢に動作し、柔道における攻防の理  
 を学びます。

## 表

体 (たい)  
 夢 中 (ゆめのうち)  
 力 避 (りよくひ)  
 水 車 (みずぐるま)  
 水 流 (みずながれ)  
 曳 落 (ひきおとし)  
 虚 倒 (こだおれ)  
 打 碎 (うちくだき)  
 谷 落 (たにおとし)  
 車 倒 (くるまだおれ)  
 鋳 取 (しころどり)  
 鋳 返 (しころがえし)  
 夕 立 (ゆうだち)  
 滝 落 (たきおとし)

## 裏

身 碎 (みくだき)  
 車 返 (くるまがえし)  
 水 入 (みずいり)  
 柳 雪 (りゅうせつ)  
 坂 落 (さかおとし)  
 雪 折 (ゆきおれ)  
 岩 波 (いわなみ)



私たちは全日本柔道連盟を応援しています

特別賛助会員 一覧



伊藤忠商事



今治造船株式会社



JFE スチール 株式会社

ShinEtsu

信越化学工業株式会社



住友商事株式会社



双日株式会社

トヨタ自動車株式会社



NIPPON STEEL

NOMURA



HANWA

Marubeni

丸紅株式会社

MIZUHO



SMBC

三井住友銀行



MITSUI & CO.

三井物産株式会社



三菱商事



MUFG

三菱UFJ銀行

# 入賞記録

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝
平成九年(第一回)	講道館	九月二十七日(日)	投の形	東京 取 鶴沢 忠男 六段 (警視庁) 受 岩佐 誠一 六段 (警視庁)	関東 取 嶋田 政雄 七段 (千葉県警察) 受 田中 博邦 七段 (千葉県警察)
			柔の形	東京 取 横山 悦子 女子五段 (平和堂) 受 大森 千草 女子四段 (大森接骨院)	東京 取 安藤 慶子 女子四段 (日本女子高校教) 受 星野喜代美 女子四段 (飛鳥高校教)
			古式の形	東京 取 佐藤 正 七段 (警視庁) 受 宇津木俊博 七段 (警視庁)	関東 取 宗 義明 七段 (神奈川県警察) 受 細谷 文行 七段 (神奈川県警察)
			地区総合	東京	北信越

平成十年(第二回)	講道館	九月二十七日(日)	固の形	東京 取 松村 茂也 八段 (東京農大教) 受 大坂栄次郎 七段 (東京農大教)	北信越 取 富澤 和秀 五段 (福井県警察) 受 山本 弘志 五段 (福井県警察)
			講道館護身術	東京 取 平川 正雄 七段 (自営業) 受 三輪 春夫 七段 (団体役員)	北海道 取 中島 正人 六段 (札幌矯正管区) 受 筒井 昇 六段 (札幌矯正管区)
			五の形	東京 取 岩間 幸治 八段 (警視庁) 受 榎 義治 七段 (皇宮警察)	関東 取 上村 勝明 七段 (千葉県警察) 受 小倉 光雄 六段 (千葉県警察)
			極の形	東京 取 西本 稔 六段 (警視庁) 受 伊東 康博 六段 (警視庁)	北信越 取 木内 義雄 六段 (長野県警察学校) 受 菊地 宗昭 五段 (長野県警察学校)
			地区総合	北信越	東京

平成十一年(第三回)	講道館	九月二十六日(日)	投の形	北信越 取 原山 伸樹 五段 (長野県警察) 受 中澤 真樹 四段 (長野県警察)	東海 取 大河内信之 六段 (西尾高校教) 受 水野 博介 六段 (東海高校教)
			柔の形	北信越 取 横山 悦子 女子五段 (平和堂) 受 井澤 陽子 女子三段 (宿保育所)	東海 取 黒田美千子 女子四段 (溝脇工務店) 受 小瀬 純子 女子三段 (神岡信用金庫)
			極の形	北信越 取 菊地 宗昭 五段 (長野県警察) 受 久保山正秋 六段 (長野県警察)	関東 取 佐藤 賢一 七段 (横浜刑務所) 受 鈴木 健一 七段 (鈴木整骨院)
			古式の形	北信越 取 野村 信夫 七段 (水原高校教) 受 斎藤 英二 五段 (村上高校教)	関東 取 嶋田 政雄 七段 (千葉県警察) 受 田中 博邦 七段 (千葉県警察)
			地区総合	北信越	関東

# 入賞記録

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝
平成十二年(第四回)	講道館	十月一日(日)	投の形	東海 取 受 今尾 省司 六段 (会社員) 梶田 和憲 六段 (自営業)	中国 取 受 三宅 裕 四段 (岡山武道館職) 忠政 友之 五段 (倉敷高校)
			固の形	九州 取 受 山元 一孝 六段 (日向接骨院) 奈須 開生 六段 (奈須接骨院)	北信越 取 受 向 健之輔 五段 (富山商業高校教) 島田 浩典 五段 (富山第一高校教)
			講道館 護身術	東京 取 受 永福 栄治 六段 (警視庁) 川島 一見 六段 (警視庁)	北信越 取 受 染野 正明 六段 (長野県警察) 菊地 宗昭 五段 (長野県警察)
			五の形	東京 取 受 橋本 昇 七段 (接骨師) 篠原 範昭 七段 (接骨師)	北信越 取 受 末永 明信 六段 (接骨師) 神田 雅春 六段 (接骨師)
			地区総合	北信越	東京

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝	3位
平成十三年(第五回)	講道館	九月三十日(日)	投の形	北信越 取 受 安達 明文 五段 (刑務官) 立花 直人 四段 (刑務官)	東海 取 受 近藤 克幸 五段 (岡崎工業高校教) 大河内哲志 五段 (整骨師)	東京 取 受 岩淵 公一 六段 (国士館高校教) 池内 隆英 六段 (東京農大一高校教)
			柔の形	北信越 取 受 横山 悦子 女子五段 (平和堂) 鷹尾 淨子 女子参段 (丸岡中学校教)	東京 取 受 川島 芳江 女子四段 (武石整骨院) 鶴岡 圭 女子参段 (立正高校教)	東海 取 受 小瀬 純子 女子参段 (高山信用金庫) 中村 晃徳 五段 (高山工業高校教)
			極の形	北信越 取 受 新田 真輝 五段 (自営業) 神田 福雄 五段 (農業)	東海 取 受 今尾 省司 六段 (会社員) 梶田 和憲 六段 (自営業)	関東 取 受 渡辺 吉明 六段 (神奈川県警察) 柴崎 文伸 五段 (神奈川県警察)
			古式の形	北信越 取 受 北見 敏明 七段 (富山県警察) 蛭谷 豊和 七段 (富山県警察)	東京 取 受 保科 素 七段 武藤 茂 七段 (後楽園総合サービス)	関東 取 受 坂本 俊彦 七段 (埼玉県警察) 堀内 安定 七段 (埼玉県警察)
			地区総合	北信越	東海	東京

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝	3位
平成十四年(第六回)	講道館	十月十三日(日)	投の形	東海 取 受 近藤 克幸 五段 (岡崎工業高校教) 大河内哲志 五段 (大河内接骨院)	関東 取 受 齊藤 信司 六段 (埼玉県警察) 田辺 正久 五段 (埼玉県警察)	東京 取 受 森脇 保彦 七段 (国士館大学教) 田中 力 四段 (国士館大学教)
			固の形	関東 取 受 濱名 智男 六段 (神奈川県警察) 山崎 正義 六段 (神奈川県警察)	四国 取 受 松本 裕二 七段 (松本整骨院) 中橋 政彦 六段 (中橋産業)	東海 取 受 今尾 省司 六段 (今尾NOUSAN) 八代 洋一 六段 (岐阜県警察)
			講道館 護身術	北信越 取 受 依田 正三 四段 (日置電機) 春日 啓孝 六段 (上田染谷丘高校教)	東京 取 受 宮腰 裕之 六段 (警視庁) 園田 雅明 六段 (警視庁)	関東 取 受 吉沢 和好 七段 (茨城県警察) 細田 健司 六段 (茨城県警察)
			五の形	近畿 取 受 藪田 善丈 六段 (兵庫県警察) 福岡 幸司 五段 (兵庫県警察)	北信越 取 受 末永 明信 六段 (末永整骨院) 神田 雅春 六段 (神田整骨院) 東海	東海 取 受 西島 温行 七段 (磐田北高校教) 磯部 正博 七段 (静岡県警察)
			地区総合	北信越	東海	関東

# 入賞記録

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝	3位
平成十五年 (第七回)	講道館	十月十九日(日)	投の形	取 受 関東 齋藤 信司 六段 (埼玉県警察) 田部 正久 六段 (埼玉県警察)	取 受 近畿 中野 真利 六段 (大阪刑務所) 上瀧 亨 五段 (平松学園)	取 受 東北 鈴木 一平 六段 (船引高等学校) 鈴木 克成 五段 (福島県警察)
			柔の形	取 受 東京 中嶋 まゆみ 女子参段 (北園高等学校) 田中 絹世 女子四段 (鉄建建設(株))	取 受 東海 大宮 民子 女子六段 (航空自衛隊) 小川 さとみ 女子四段 (フィットネスフロイデ)	取 受 北信越 宮坂 安寿恵 女子式段 (主婦) 大森 千草 女子五段 (大森接骨院)
			極の形	取 受 東京 河内 利幸 四段 (多摩中央警察署) 江波戸 清市 五段 (小岩警察署)	取 受 東海 今尾 省司 七段 (今尾NOUSAN) 清水 和憲 六段 (自営業)	取 受 北信越 丸山 稔 五段 (丸山起設) 稲毛 秀利 五段 (農業)
			古式の形	取 受 東京 保科 素 七段(無職) 武藤 茂 七段(無職)	取 受 北信越 小野澤健次郎 七段 (株)明和) 春日 啓孝 六段 (上田染谷丘高等学校)	取 受 東京 新井 俊昭 七段 (埼玉県警察) 鯨井 甫 七段 (埼玉県警察)
			地区総合	東京	北信越	東海
平成十六年 (第八回)	講道館	十月十七日(日)	投の形	取 受 北信越 内山 貴之 五段 (内山接骨院) 松井 孝文 参段 (敬老園)	取 受 関東 大島 修次 六段 (千葉県警察) 鴨治 由貴 五段 (千葉県警察)	取 受 東京 田中 一郎 六段 (田中接骨院) 下地 秀和 六段 (花田学園)
			固の形	取 受 東京 那須 等 四段 (警視庁) 渡邊 隆 五段 (警視庁)	取 受 東海 今尾 省司 七段 (今尾NOUSAN) 清水 和憲 六段 (自営業)	取 受 北海道 清野 國安 六段 (函館工業高等専門学校) 工藤 重孝 五段 (柔道整復師)
			講道館 護身術	取 受 東京 菊川 誠士 五段 (警視庁) 原 栄太郎 五段 (警視庁)	取 受 中国 竹村 典久 六段 (広島県警察) 左近 光徳 四段 (広島県警察)	取 受 北信越 倉石 宣彦 五段 (長野県警察) 藤井 誠 五段 (長野県警察)
				同 点 優 勝		
			五の形	取 受 東京 須賀 将行 六段 (警視庁) 平井 正敏 六段 (第一建築サービス(株))	取 受 北信越 末永 明信 六段 (末永接骨院) 神田 雅春 六段 (神田接骨院)	取 受 東海 水野 博介 七段 (東海高等学校) 大河内信之 六段 (西尾高等学校)
地区総合	東京	北信越	東海			
平成十七年 (第九回)	講道館	十月十六日(日)	投の形	取 受 関東 大島 修次 六段 (千葉県警察) 鴨治 由貴 六段 (千葉県警察)	取 受 北信越 高橋 俊充 五段 (長野県警察) 依田 文和 四段 (長野県警察)	取 受 東京 梶 啓之 四段 (警視庁) 飯島 晃 四段 (警視庁)
			柔の形	取 受 北信越 宮坂 安寿恵 女子参段 大森 千草 女子五段 (大森接骨院)	取 受 関東 松永 佐枝子 女子五段 齋藤 志津子 女子四段	取 受 東北 今立 篤子 女子五段 播摩 優子 女子参段 (能代市役所)
			極の形	取 受 東京 竹石 憲治 五段 (警視庁) 植松 恒司 六段 (警視庁)	取 受 東海 今尾 省司 七段 (今尾NOUSAN) 清水 和憲 六段 (梶田技建)	取 受 北信越 村田 賢一 五段 (北信州みゆき農業協同組合) 坪井 清仁 五段 (飯山市役所)
			古式の形	取 受 北信越 小野澤健二郎 七段 (株)明和) 春日 啓孝 六段 (上田染谷丘高校)	取 受 東京 米重 清光 七段 (財)全日本柔道連盟) 佐藤 良吉 七段 (自営業)	取 受 関東 新井 俊明 七段 (埼玉県警察) 鯨井 甫 七段 (埼玉県警察)
			地区総合	北信越	東京	関東

# 入賞記録

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝	3位
平成十八年(第十回)	講道館	十月二十二日(日)	投の形	北信越 取 受 高橋 俊充 五段 (長野県警察) 依田 文和 四段 (長野県警察)	近畿 取 受 築山 忠弘 六段 (大阪府警察) 芦田 和典 五段 (近畿管区警察局)	東京 取 受 長谷部 真 五段 (警視庁) 清水 紀宏 五段 (警視庁)
			固の形	東京 取 受 芳岡 武 五段 (警視庁) 三原 貴史 五段 (警視庁)	北信越 取 受 正木 教英 四段 (福井県警察) 大平 徹 四段 (福井県警察)	四国 取 受 松本 裕司 七段 (松本接骨院) 中橋 政彦 六段 (㈱中橋産業)
			講道館 護身術	北信越 取 受 武井 弘美 六段 (武井接骨院) 平林 友一 五段 (セイコーエプソン㈱)	東京 取 受 武田 武 六段 (警視庁) 宮崎 純一 六段 (警視庁)	東海 取 受 水野 信行 六段 (名古屋拘置所) 上野 義行 六段 (名古屋拘置所)
			五の形	東海 取 受 水野 博介 七段 (東海高等学校) 大河内信之 七段 (海陽中等教育学校)	東京 取 受 茂木 明 七段 (警視庁) 黒木 義則 七段 (警視庁)	北信越 取 受 黒川 康信 五段 (柔道整復師) 川口 稔 五段 (柔道整復師)
			地区総合	北信越	東京	東海

平成二十年(第十一回)	講道館	十月二十六日(日)	投の形	北信越 取 受 内山 貴之 五段 (内山接骨院) 松井 孝文 四段 (㈱デルトラウム)	関東 取 受 矢澤 裕 五段 (昭和興業㈱) 関口 敦司 五段 (東日本電信電話㈱)	近畿 取 受 高橋 雄哉 四段 (和歌山県立伊都高校) 森 泰伸 三段 (和歌山県立海南高校)
			固の形	四国 取 受 松本 裕司 七段 (松本接骨院) 中橋 政彦 六段 (中橋産業㈱)	近畿 取 受 南桒 千賀 女子四段 (㈱南桒建材) 南桒 恵莉 女子初段 (奈良県立奈良高校学生)	東海 取 受 松川 博茂 六段 (愛知県立ひいらぎ養護学校) 杉山 賢勲 五段 (丸運吉田荷扱所)
			極の形	東海 取 受 今尾 省司 七段 (会社員) 清水 和憲 六段 (自営業)	東京 取 受 奥野 憲司 三段 (警視庁) 角田 健介 三段 (警視庁)	北信越 取 受 徳武 宗昭 五段 (信州医療福祉専門学校学生) 坪井 清仁 五段 (㈱飯山市振興公社)
			柔の形	東海 取 受 小瀬 純子 女子四段 (高山信用金庫) 小枝 忠司 四段 (小枝フトン店)	関東 取 受 江波戸友子 女子五段 (㈱雅洞) 菅沼 照子 女子二段 (㈱酒主本店)	北海道 取 受 小島みどり 女子三段 (ネットヨタ旭川) 小山内民子 女子三段 (ドライブアワーギャラリーふどうのつる)
			講道館 護身術	関東 取 受 濱名 智男 六段 (神奈川県警察) 山崎 正義 六段 (神奈川県警察)	北信越 取 受 武井 弘美 六段 (武井接骨院) 平林 友一 五段 (セイコーエプソン㈱)	東京 取 受 須賀 将行 七段 (警視庁) 田中 壽 七段 (東京交通安全協会)
			五の形	東京 取 受 石井 隆 七段 清家 春夫 七段 (明治安田生命保険相互会社)	中国 取 受 花本 茂人 七段 (鳥根県立松江南高校) 高野 伸介 六段 (鳥根県立武道館)	北信越 取 受 丸尾 泉 六段 (長野県丸子修学館高校) 勝見 藤一 六段 (上田市立菅平中学校)
			古式の形	東京 取 受 佐藤 良吉 七段 (建設業) 米重 清光 七段 (㈱全日本柔道連盟)	関東 取 受 土屋 正之 六段 (縫製業) 駒崎 義一 七段 (㈱明成)	中国 取 受 田村 吉永 六段 (岡山県警察) 美濃 達也 七段 (岡山県警察)
			地区総合	東京	北信越	北海道

# 入賞記録

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝	3位
平成二十一年(第十二回)	講道館	十月二十五日(日)	投の形	関東 取 受 宮田 裕介 四段 (埼玉県警察学校) 市東 崇 五段 (埼玉県警察学校)	東京 取 受 赤坂 洋輔 四段 (警視庁) 若葉 大介 四段 (警視庁)	東海 取 受 柘植 久嗣 四段 (米田柔整専門学校) 神谷 昌利 五段 (M・かみや接骨院)
			固の形	東京 取 受 小室 宏二 五段 (東京都市大学付属中学・高等学校) 高野 賢司 六段 (㈱ランディ コーポレーション)	北海道 取 受 清野 國安 六段 (教員) 工藤 重孝 六段 (柔道整復師)	東海 取 受 松川 博茂 六段 (愛知県立ひいらぎ養護学校) 杉山 康弘 五段 (丸運吉田)
			極の形	東海 取 受 今尾 省司 七段 (自営) 清水 和憲 六段 (自営)	東京 取 受 奥野 憲司 三段 (警視庁) 角田 健介 四段 (警視庁)	北信越 取 受 村田 賢一 五段 (北信州みゆき農業協同組合) 坪井 清仁 五段 (飯山市役所)
			柔の形	東海 取 受 小瀬 純子 女子四段 (高山信用金庫) 小枝 忠司 四段 (小枝フトン店)	北信越 取 受 鷺田 真純 女子初段 (福井県立足羽高等学校) 會退由希恵 女子初段 (福井県立足羽高等学校)	東京 取 受 谷島 義枝 女子四段 (二宮道場接骨院) 二宮 正江 女子四段 (二宮道場接骨院)
			講道館護身術	北信越 取 受 武井 弘美 六段 (武井接骨院) 平林 友一 五段 (セイコーエプソン㈱)	東海 取 受 水野 博介 七段 (東海中・高等学校) 大河内信之 七段 (海陽中等教育学校)	近畿 取 受 神田 俊樹 五段 (大阪府警察) 守安 由充 六段 (大阪府警察)
			五の形	北信越 取 受 丸尾 泉 六段 (長野県上田高等学校) 勝見 藤一 六段 (長野県上田市立菅平中学校)	中国 取 受 花本 茂人 七段 (鳥根県立松江南高等学校) 高野 伸介 六段 (鳥根県立武道館)	近畿 取 受 山本 紀市 六段 (兵庫県警察) 園田真一郎 五段 (兵庫県警察)
			古式の形	中国 取 受 田村 吉永 六段 (岡山県警察) 美濃 達也 七段 (岡山県警察)	北信越 取 受 瀧澤 義人 七段 (信州医療福祉専門学校) 小林 修 六段 (小林接骨院)	東京 取 受 清水 正敬 八段 (株式会社滴水) 清家 春夫 七段 (日本映像ソフトソフト制作・販売倫理機構)
			地区総合		東海	東京

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝	3位
平成二十二年(第十三回)	講道館	十月三十一日(日)	投の形	北信越 取 受 内山 貴之 五段 (㈱アルトラウム) 松井 孝文 四段 (社会福祉法人 敬老園)	全国 取 受 坂本 道人 五段 (福岡大学) 横山 喬之 五段 (摂南大学)	東京 取 受 赤坂 洋輔 五段 (警視庁) 若葉 大介 五段 (警視庁)
			固の形	東京 取 受 小室 宏二 五段 (東京都市大学付属 中学校高等学校) 高野 賢司 六段 (会社役員)	東海 取 受 松川 博茂 六段 (愛知県立ひいらぎ養護学校) 杉山 康弘 五段 (丸運吉田)	北海道 取 受 清野 國安 六段 (函館工業高等専門学校) 工藤 重孝 六段 (工藤接骨院)
			極の形	東京 取 受 奥野 憲司 四段 (警視庁) 角田 健介 四段 (警視庁)	東海 取 受 今尾 省司 七段 (自営) 清水 和憲 六段 (㈱ジーアール)	関東 取 受 菅澤 壽一 六段 (神奈川県警察) 柴崎 文伸 六段 (神奈川県警察)
			柔の形	北信越 取 受 横山 悦子 女子六段 (㈱平和堂 アル プラザ ベル) 大森 千草 女子五段 (大森接骨院)	全国 取 受 大宮 民子 女子六段 (口論義運動公園 水泳クラブ) 竹淵 典子 女子五段 (埼玉県立和光南特別支援学校)	東海 取 受 白野 恵 女子二段 (高山信用金庫) 白野 光 女子二段 (飛騨世界生活センター)
			講道館護身術	東京 取 受 武田 武 六段 (警視庁) 宮崎 純一 六段 (警視庁)	北信越 取 受 武井 弘美 六段 (武井接骨院) 矢崎 宏明 五段 (矢崎不動産㈱)	東海 取 受 水野 博介 七段 (東海中・高等学校) 大河内信之 七段 (海陽中等教育学校)
			五の形	北信越 取 受 春日 啓孝 六段 (長野県上田東高等学校) 勝見 藤一 六段 (長野県上田市立丸子中学校)	関東 取 受 細貝 昭吾 六段 (医療法人 石井会石井病院) 藤川 進 六段 (藤川接骨院)	近畿 取 受 吉田 進 六段 (京都府警察) 西村 新一 六段 (近畿管区警察学校)
			古式の形	全国 取 受 井上 康彦 六段 (自営業) 米重 清光 七段 (助全日本柔道連盟)	北信越 取 受 瀧澤 義人 七段 (信州医療福祉専門学校) 小林 修 六段 (湯田中温泉接骨院)	東北 取 受 三船 俊光 六段 (野田村立野田中学校) 小黒沢正智 六段 (岩手県警察学校)
			地区総合		北信越	東京

# 入賞記録

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝	3位
平成二十三年 (第十四回)	講道館	十月二十三日(日)	投の形	推薦 取 受 坂本 道人 六段 (福岡大学教員) 横山 喬之 五段 (摂南大学教員)	東京 取 受 赤坂 洋輔 五段 (警視庁) 若菜 大介 五段 (警視庁)	関東 取 受 宮田 裕介 四段 (埼玉県警察学校) 市東 崇 六段 (埼玉県警察学校)
			固の形	推薦 取 受 小室 宏二 五段 (東京都市大学付属中学校・高等学校教員) 高野 賢司 六段 (株式会社ランディコーポレーション)	東海 取 受 中山 智史 四段 (中山接骨院) 林 聖治 三段 (三橋接骨院)	北信越 取 受 長田 康秀 五段 (川口整骨院) 辻野 祐紀 四段 (有限会社マックスシステム)
			極の形	推薦 取 受 竹石 憲治 六段 (警視庁) 植松 恒司 六段 (警視庁)	東海 取 受 今尾 省司 七段 (今尾NOUSAN) 清水 和憲 六段 (有限会社ジューアル)	関東 取 受 菅澤 壽一 六段 (神奈川県警察) 柴崎 文伸 六段 (神奈川県警察)
			柔の形	推薦 取 受 横山 悦子 女子六段 (アル・プラザベル) 大森 千草 女子五段 (大森接骨院)	東海 取 受 白野 恵 女子二段 (高山信用金庫) 白野 光 女子二段 (飛騨特別支援学校)	全国枠 取 受 今立 篤子 女子六段 (能代第一中学校教員) 齋藤志津子 女子五段
			講道館 護身術	東京 取 受 武田 武 六段 (警視庁) 宮崎 純一 六段 (警視庁)	東海 取 受 水野 博介 七段 (東海中・高等学校) 大河内信之 七段 (海陽中等教育学校)	近畿 取 受 神田 俊樹 五段 (大阪府警察) 守安 由充 六段 (大阪府警察)
			五の形	北信越 取 受 丸尾 泉 六段 (長野県教育委員会) 勝見 藤一 六段 (丸子中学校教員)	中国 取 受 正司 直樹 七段 (山口県警察) 藤本 哲夫 六段 (山口県警察学校)	近畿 取 受 吉田 進 六段 (京都府警察) 西村 信一 七段 (京都府警察)
			古式の形	北信越 取 受 瀧澤 義人 七段 (信州医療福祉専門学校) 小林 修 六段 (湯田中温泉整骨院)	中国 取 受 田村 吉永 六段 (岡山県警察) 美濃 達也 七段 (岡山県警察)	東京 取 受 佐藤 良吉 七段 加藤 隆雄 六段 (東京都足立区非常勤職員)
			地区総合		北信越	東海

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝	3位
平成二十四年 (第十五回)	講道館	十月二十一日(日)	投の形	推薦 取 受 坂本 道人 六段 (福岡大学教員) 横山 喬之 五段 (摂南大学教員)	北信越 取 受 富澤 和英 六段 (福井県警察) 巻下 広史 四段 (福井刑務所)	四国 取 受 児島 浩二 五段 (香川県警察) 松原 祐也 五段 (香川県警察)
			固の形	推薦 取 受 中山 智史 四段 (中山接骨院) 林 聖治 三段 (三橋接骨院)	東海 取 受 松川 博茂 六段 (愛知県立ひいらぎ養護学校) 杉山 康弘 五段 (丸運吉田)	関東 取 受 市川 洋文 五段 (横浜市役所) 佐久間善大 三段 (教道館)
			極の形	推薦 取 受 今尾 省司 七段 (中和医療専門学校) 清水 和憲 六段 (自営業)	北信越 取 受 徳武 宗昭 五段 (くまき整形外科クリニック) 坪井 清仁 五段 (飯山市役所)	東京 取 受 隈井 昭典 四段 (警視庁) 長田 忠 五段 (警視庁)
			柔の形	推薦 取 受 横山 悦子 女子六段 (アル・プラザベル) 大森 千草 女子五段 (大森接骨院)	東海 取 受 石田 桃子 女子三段 (学生) 石田真理子 女子二段 (学生)	全国枠 取 受 大宮 民子 女子六段 (愛知県論議運動公園内NPO法人水泳クラブ) 竹舘 典子 女子五段 (和光南特別支援学校教員)
			講道館 護身術	推薦 取 受 武田 武 六段 (警視庁) 宮崎 純一 六段 (警視庁)	北信越 取 受 武井 弘美 六段 (武井接骨院) 矢崎 宏明 五段 (矢崎不動産有限公司)	東海 取 受 水野 博介 七段 (東海中・高等学校) 大河内信之 七段 (海陽中等教育学校)
			五の形	北信越 取 受 丸尾 泉 六段 (長野県教育委員会) 勝見 藤一 六段 (丸子中学校教員)	関東 取 受 濱名 智男 七段 (神奈川県警察) 山崎 正義 七段 (神奈川県警察)	東海 取 受 黒田美千子 女子六段 塚腰 広志 三段 (自営)
			古式の形	東京 取 受 佐藤 良吉 七段 (自営) 加藤 隆雄 六段	近畿 取 受 北田 孝敏 六段 (大阪府警察) 稲葉 弘樹 六段 (大阪府警察)	北信越 取 受 瀧澤 義人 七段 (信州医療福祉専門学校) 小林 修 六段
			地区総合		北信越	東海

# 入賞記録

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝	3位
平成二十五年 (第十六回)	講道館	九月二十三日 (月・祝)	投の形	推薦 取 受 坂本 道人 六段 (福岡大学教員) 横山 喬之 五段 (摂南大学教員)	北信越 取 受 富澤 和英 六段 (福井県警察) 巻下 広史 四段 (福井刑務所)	推薦 取 受 赤坂 洋輔 五段 (警視庁) 若菜 大介 五段 (警視庁)
			固の形	推薦 取 受 中山 智史 四段 (中山接骨院) 林 聖治 四段 (三橋接骨院)	東京 取 受 小室 宏二 五段 (東京都市大学付属中学校・高等学校教員) 高野 賢司 六段 (自営)	推薦 取 受 松川 博茂 六段 (ひいらぎ養護学校教諭) 杉山 康弘 五段 (丸運吉田)
			極の形	推薦 取 受 今尾 省司 七段 (中和医療専門学校教員) 清水 和憲 六段 (アサヒテック)	北信越 取 受 徳武 宗昭 五段 (くまき整形外科クリニック) 坪井 清仁 五段 (飯山市役所)	取 受 佐藤 幸範 五段 (神奈川県警察) 柴崎 文伸 六段 (神奈川県警察学校)
			柔の形	推薦 取 受 横山 悦子 女子七段 (平和堂APベル) 大森 千草 女子六段 (大森接骨院)	推薦 取 受 白野 恵 女子三段 (高山信用金庫) 白野 光 女子三段 (飛騨古城特別支援学校)	取 受 石田 桃子 女子三段 (米田柔整専門学校学生) 石田真理子 女子二段 (南山大学学生)
			講道館 護身術	推薦 取 受 武田 武 七段 (警視庁) 宮崎 純一 七段 (警視庁)	取 受 濱名 智男 七段 (神奈川県警察) 山崎 正義 七段 (神奈川県警察)	取 受 水野 博介 八段 (東海中・高等学校) 大河内信之 七段 (海陽中等教育学校)
			五の形	全国 取 受 佐藤伸一郎 七段 (拓殖大学) 増地 克之 六段 (筑波大学)	北信越 取 受 丸尾 泉 六段 (松川高等学校) 勝見 藤一 六段 (東御市立和小学校)	取 受 松本 裕司 七段 (松本接骨院) 久保 秀利 七段 (高松刑務所)
			古式の形	北信越 取 受 瀧澤 義人 七段 (瀧澤接骨院) 小林 修 六段 (湯田中温泉接骨院)	全国 取 受 井上 康彦 七段 (自営業) 米重 清光 七段 (公益財団法人 全日本柔道連盟)	取 受 太田 成彦 七段 (南伊勢高等学校南勢校舎) 内村 秀一 七段 (三重県警察)
			地区総合	北信越	東京	東海

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝	3位
平成二十六年 (第十七回)	講道館	十一月二十二日 (土)	投の形	推薦 取 受 坂本 道人 六段 福岡大学教員 横山 喬之 五段 摂南大学教員	東京 取 受 赤坂 洋輔 五段 警視庁 若菜 大介 五段 警視庁	取 受 柘植 久嗣 四段 米田柔整専門学校教員 神谷 昌利 五段 M・かみや接骨院
			固の形	推薦 取 受 中山 智史 四段 中山接骨院 林 聖治 四段 三橋接骨院	東海 取 受 松川 博茂 六段 愛知県立半田特別支援学校教員 杉山 康弘 五段 丸運吉田	取 受 下野 龍司 五段 京都文教高校教員 大館斗志爾 四段 京都市立羽羽中学校教員
			極の形	東京 取 受 竹石 憲治 六段 警視庁 植松 恒司 六段 警視庁	推薦 取 受 今尾 省司 七段 中和医療専門学校教員 清水 和憲 六段 アサヒテック	取 受 佐藤 幸範 六段 神奈川県警察 柴崎 文伸 六段 神奈川県警察学校
			柔の形	推薦 取 受 横山 悦子 女子七段 武道学園 大森 千草 女子六段 大森接骨院	東海 取 受 石田 桃子 女子四段 米田柔整専門学校学生 石田真理子 女子三段 南山大学学生	取 受 南埜 千賀 女子五段 株式会社南埜建材 南埜 恵莉 女子三段 愛知県立芸術大学学生
			講道館 護身術	推薦 取 受 宮本 秀樹 六段 京都府警察 渡辺 正喜 六段 京都府警察	近畿 取 受 守安 由充 六段 大阪府警察 上坂 正語 五段 大阪府警察	取 受 武井 弘美 六段 武井接骨院 矢崎 宏明 六段 矢崎不動産
			五の形	全国 取 受 佐藤伸一郎 七段 拓殖大学教員 増地 克之 六段 筑波大学教員	東海 取 受 大河内哲志 六段 おおこうち接骨院 大河内信之 七段 海陽中学校教員	取 受 山本 幸雄 六段 やまもと接骨院 川口 稔 六段 川口整骨院
			古式の形	東京 取 受 大石萬喜夫 六段 医療法人 大志 加藤 隆雄 七段	東海 取 受 渡辺 達也 七段 静岡県警察 磯部 正博 八段	取 受 田村 吉永 六段 岡山県警察 美濃 達也 七段 岡山県警察
			地区総合	東京	東海	北信越

# 入賞記録

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝	3位
平成二十七年 (第十八回)	講道館	十一月二十一日(土)	投の形	推薦 取 受 坂本 道人 六段 (福岡大学教員) 横山 喬之 五段 (摂南大学教員)	東京 取 受 赤坂 洋輔 五段 (警視庁) 若菜 大介 五段 (警視庁)	北信越 取 受 富澤 和英 六段 (福井県警察学校) 巻下 広史 四段 (福井刑務所)
			固の形	推薦 取 受 中山 智史 五段 (中山接骨院) 林 聖治 五段 (三橋接骨院)	東海 取 受 松川 博茂 六段 (愛知県立半田特別支援学校) 杉山 康弘 六段 (丸運吉田)	近畿 取 受 下野 龍司 五段 (京都文教高校教員) 大館斗志爾 四段 (京都市立音羽中学校教員)
			極の形	推薦 取 受 竹石 憲治 六段 (警視庁) 植松 恒司 六段 (警視庁)	関東 取 受 佐藤 幸範 六段 (神奈川県警察) 柴崎 文伸 六段 (神奈川県警察)	全国枠 取 受 各務 耕司 六段 (愛知県警察) 北山 勲 五段 (奈良県警察)
			柔の形	東海 取 受 石田 桃子 女子四段 (米田柔整専門学校) 石田真理子 女子三段 (南山大学学生)	推薦 取 受 横山 悦子 女子七段 大森 千草 女子六段 (大森接骨院)	関東 取 受 矢島 知奈 女子初段 (埼玉県立杉戸農業高校生徒) 矢島 侑依 無段 (春日部市立春日部中学校生徒)
			講道館 護身術	推薦 取 受 宮本 秀樹 六段 (京都府警察) 渡辺 正喜 六段 (京都府警察)	東京 取 受 池田 孝生 五段 (警視庁) 酒巻 文孝 五段 (警視庁)	北信越 取 受 武井 弘美 六段 (武井接骨院) 矢崎 宏明 六段 (矢崎不動産)
			五の形	推薦 取 受 佐藤伸一郎 七段 (拓殖大学教員) 増地 克之 六段 (筑波大学教員)	東海 取 受 大河内信之 七段 (海陽中学校教員) 大河内哲志 六段 (おおこうち接骨院)	北信越 取 受 山本 幸雄 六段 (やまもと接骨院) 川口 稔 六段 (川口整骨院)
			古式の形	北信越 取 受 竹田 聡 七段 (富山県警察) 神田 雅春 七段 (神田接骨院)	東京 取 受 清家 春夫 八段 加藤 隆雄 七段	全国枠 取 受 菅波 盛雄 八段 (順天堂大学教員) 水野 博介 八段 (東海中学・高校教員)
			地区総合	東海	近畿	東京

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝	3位
平成二十八年 (第十九回)	講道館	十月二十三日(日)	投の形	推薦 取 受 坂本 道人 六段 (福岡大学) 横山 喬之 五段 (摂南大学)	推薦 取 受 赤坂 洋輔 五段 (警視庁) 若菜 大介 五段 (警視庁)	北信越 取 受 富澤 和英 六段 (福井県警察学校) 巻下 広史 四段 (福井刑務所)
			固の形	推薦 取 受 中山 智史 五段 (中山接骨院) 林 聖治 五段 (三橋接骨院)	推薦 取 受 下野 龍司 五段 (京都文教高校) 大館斗志爾 四段 (京都市立音羽中学校)	東海 取 受 松川 博茂 六段 (大府特別支援学校) 杉山 康弘 六段 (牧園芸)
			極の形	推薦 取 受 竹石 憲治 六段 (警視庁) 植松 恒司 六段 (警視庁)	推薦 取 受 佐藤 幸範 六段 (神奈川県警察) 柴崎 文伸 六段 (神奈川県警察)	全国枠 取 受 各務 耕司 六段 (愛知県警察) 北山 勲 五段 (奈良県警察)
			柔の形	東海 取 受 高野 恵 女子三段 (高山信用金庫) 白野 光 女子三段 (飛騨古城特別支援学校)	推薦 取 受 石田 桃子 女子四段 (米田柔整専門学校) 石田真理子 女子三段 (米田柔整専門学校)	関東 取 受 矢島 知奈 女子初段 (杉戸農業高校2年) 矢島 侑依 女子初段 (春日部中学校3年)
			講道館 護身術	推薦 取 受 池田 孝生 五段 (警視庁) 酒巻 文孝 五段 (警視庁)	推薦 取 受 宮本 秀樹 六段 (京都府警察) 渡辺 正喜 六段 (京都府警察)	近畿 取 受 上坂 正語 六段 (大阪府警察) 池田 広樹 五段 (大阪府警察)
			五の形	東海 取 受 大河内哲志 六段 (おおこうち接骨院) 大河内信之 七段 (海陽中等教育学校)	近畿 取 受 吉田 進 七段 (京都府警察) 浅野 宗樹 六段 (京都府警察)	北海道 取 受 工藤 重孝 六段 (工藤整骨院) 清野 國安 六段 (函館工業高等専門学校)
			古式の形	全国枠 取 受 菅波 盛雄 八段 (順天堂大学) 水野 博介 八段 (東海中高等学校)	推薦 取 受 竹田 聡 七段 (富山県警察学校) 神田 雅春 七段 (神田接骨院)	関東 取 受 鈴木 常夫 六段 (鈴木商事) 三橋 英夫 七段
			地区総合	近畿	東京	北信越

# 入賞記録

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝	3位
平成二十九年(第二十回)	講道館	十月二十二日(日)	投の形	推薦 取 受 坂本 道人 六段 (福岡大学) 横山 喬之 五段 (摂南大学)	推薦 取 受 赤坂 洋輔 五段 (警視庁) 若菜 大介 五段 (警視庁)	北信越 取 受 富澤 和英 六段 (福井県警察) 卷下 広史 四段 (富山刑務所)
			固の形	推薦 取 受 中山 智史 五段 (中山接骨院) 林 聖治 五段 (三橋接骨院)	推薦 取 受 下野 龍司 五段 (京都文教高校) 大館斗志爾 四段 (京都市立藤森中学校)	近畿 取 受 芦田 和典 六段 (大阪府警察) 入江 浩正 五段 (森ノ宮医療学園専門学校)
			極の形	推薦 取 受 竹石 憲治 六段 (警視庁) 植松 恒司 六段 (警視庁)	推薦 取 受 佐藤 幸範 六段 (神奈川県警察) 柴崎 文伸 六段 (神奈川県警察)	北海道 取 受 中澤 伸一 六段 (株)なかざわ 中澤 正 五段 (北海道北見柏陽高等学校)
			柔の形	推薦 取 受 石田 桃子 女子四段 (井戸整形外科名駅スポーツクリニック) 石田真理子 女子三段 (米田柔整専門学校(学生))	推薦 取 受 高野 恵 女子三段 (高山信用金庫) 白野 光 女子三段 (飛騨古城特別支援学校)	関東 取 受 矢島 知奈 女子初段 (杉戸農業高校) 矢島 侑依 女子初段 (杉戸農業高校)
			講道館 護身術	推薦 取 受 池田 孝生 五段 (警視庁) 酒卷 文孝 五段 (警視庁)	推薦 取 受 上坂 正語 六段 (大阪府警察) 池田 広樹 五段 (大阪府警察)	東海 取 受 長瀬 あゆみ 女子四段 (岐阜県警察学校) 松久 好勝 六段 (岐阜県警察学校)
			五の形	東海 取 受 大河内哲志 六段 (おおこうち接骨院) 大河内信之 八段 (海陽中等教育学校)	関東 取 受 市川 洋文 五段 (横浜市役所) 山崎 正義 七段 (神奈川県警察)	東京 取 受 大木 恒毅 六段 (株式会社東洋実業) 阿部 雅人 六段 (大成建設株式会社)
			古式の形	近畿 取 受 神田 博彰 六段 (大阪府警察) 瀬川 泰寛 六段 (大阪府警察学校)	東京 取 受 清家 春夫 八段 (日本マスターズ柔道協会) 小池 健三 六段 (シンテイ警備株式会社)	関東 取 受 土屋 正之 七段 (縫製業) 加藤 隆雄 七段
			地区総合	東京	関東	北信越

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝	3位
平成三十年(第二十一回)	講道館	十月二十一日(日)	投の形	東京 取 受 赤坂 洋輔 六段 (警視庁) 若菜 大介 六段 (警視庁)	推薦 取 受 富澤 和英 七段 (福井県警察) 卷下 広史 五段 (富山刑務所)	近畿 取 受 吉川 延寿 五段 (大阪府警察) 北口 嘉一 五段 (大阪府警察)
			固の形	推薦 取 受 中山 智史 五段 (中山接骨院) 林 聖治 五段 (三橋接骨院)	全国 取 受 下野 龍司 五段 (京都文教高校) 大館斗志爾 四段 (京都市立藤森中学校)	東京 取 受 神宮 武志 五段 (警視庁) 阿達 哲也 五段 (警視庁)
			極の形	推薦 取 受 竹石 憲治 六段 (警視庁) 植松 恒司 六段 (警視庁)	推薦 取 受 佐藤 幸範 六段 (神奈川県警察) 柴崎 文伸 六段 (神奈川県警察)	近畿 取 受 大門 義明 四段 (奈良県警察) 北山 勲 五段 (奈良県警察)
			柔の形	推薦 取 受 高野 恵 女子三段 (高山信用金庫) 白野 光 女子三段 (飛騨古城特別支援学校)	推薦 取 受 石田 桃子 女子四段 (米田柔整専門学校) 石田真理子 女子三段 (米田柔整専門学校(学生))	全国 取 受 浅野 日月 女子二段 (国士館大学) 浅野 華月 女子初段 (斐太高校)
			講道館 護身術	推薦 取 受 池田 孝生 五段 (警視庁) 酒卷 文孝 五段 (警視庁)	近畿 取 受 上坂 正語 六段 (大阪府警察) 池田 広樹 五段 (大阪府警察)	関東 取 受 三輪 智久 六段 (神奈川県警察) 菊地 嘉幸 六段 (YOLO)
			五の形	関東 取 受 市川 洋文 六段 (横浜市役所) 山崎 正義 七段 (神奈川県警察)	北海道 取 受 工藤 重孝 六段 (工藤整骨院) 清野 國安 七段 (函館工業高等専門学校)	近畿 取 受 吉田 進 七段 (京都府警察) 浅野 宗樹 六段 (京都府警察)
			古式の形	関東 取 受 中西 英敏 八段 (東海大学) 松本 勇治 七段 (神奈川県)	東京 取 受 清家 春夫 八段 (日本マスターズ柔道協会) 小池 健三 六段 (株)コアズ)	全国 取 受 菅波 盛雄 八段 (順天堂大学) 水野 博介 八段 (東海中学校高等学校)
			地区総合	東京	近畿	関東

# 入賞記録

年度	会場	期日	種目	優勝	準優勝	3位
令和元年(第二十二回)	講道館	十月二十七日(日)	投の形	推薦 取 受 坂本 道人 六段 (福岡大学) 横山 喬之 五段 (摂南大学)	推薦 取 受 富澤 和英 七段 (福井県警察) 卷下 広史 五段 (富山刑務所)	推薦 取 受 赤坂 洋輔 六段 (警視庁) 若菜 大介 六段 (警視庁)
			固の形	推薦 取 受 下野 龍司 五段 (京都文教高校) 大館斗志爾 四段 (京都市立藤森中学校)	推薦 取 受 中山 智史 五段 (中山接骨院) 林 聖治 五段 (三橋接骨院)	近畿 取 受 芦田 和典 七段 (大阪府警察) 入江 浩正 五段 (森ノ宮医療専門学校)
			極の形	推薦 取 受 竹石 憲治 六段 (警視庁) 植松 恒司 六段 (警視庁)	推薦 取 受 佐藤 幸範 六段 (神奈川県警察) 柴崎 文伸 六段 (神奈川県警察)	東京 取 受 隈井 昭典 五段 (警視庁) 長田 忠 六段 (警視庁)
			柔の形	推薦 取 受 石田 桃子 女子四段 (米田柔整専門学校) 石田真理子 女子三段 (本町クリニック)	推薦 取 受 高野 恵 女子三段 (高山信用金庫) 白野 光 女子三段 (飛騨古城特別支援学校)	全国 取 受 浅野 日月 女子二段 (国士館大学) 浅野 華月 女子初段 (国士館大学)
			講道館 護身術	推薦 取 受 池田 孝生 五段 (警視庁) 酒卷 文孝 五段 (警視庁)	推薦 取 受 上坂 正語 六段 (大阪府警察) 池田 広樹 五段 (大阪府警察)	推薦 取 受 福地賢志郎 七段 (皇宮警察) 新井 栄二 六段 (皇宮警察)
			五の形	推薦 取 受 市川 洋文 六段 (横浜市役所) 山崎 正義 七段 (神奈川県警察)	東海 取 受 杉山 康弘 六段 (黒柳建設) 大河内哲志 六段 (おおこうち接骨院)	東京 取 受 大木 恒毅 六段 (東洋実業) 阿部 雅人 六段 (大成建設)
			古式の形	推薦 取 受 中西 英敏 八段 (東海大学) 松本 勇治 七段 (神奈川県警察)	全国 取 受 菅波 盛雄 八段 (順天堂大学) 水野 博介 八段 (東海中学高等学校)	全国 取 受 掛札 均 八段 手塚 勝彦 六段 (埼玉県警察)
			地区総合	東京	東海	北信越

memo

# 子どもたちの明日を育てるために

## 賛助会員募集

嘉納治五郎師範が終生取り組まれた、礼節を重んじ、柔道を通じた人づくり。柔道で培った逞しさと品性、知性といった精神性を併せ持つ、りっぱな青年をつくりあげて社会に送り出すことを目指しておられました。本連盟では、この原点に立ち返り、青少年の育成に取り組んでおります。賛助会員制度とは、みなさまから賜りましたご支援をそのために活用させていただく制度です。柔道を愛するみなさまの深いご理解とご賛同をお待ちしております。

### 年会費

法人・団体会員 1□ 50,000円  
個人会員 1□ 5,000円

### 特典

1. 法人・団体会員、個人会員ともに申込み口数により、ゴールド会員(10口以上)、シルバー会員(5~9口)、ブロンズ会員(1~4口)の会員証を発行します。
2. 本連盟が発行する機関誌を配布します。
3. 本連盟公式ホームページ内にお名前を掲載します。(匿名希望の方は掲載しません)

### 入会方法

ご入会は公式ホームページ <http://www.judo.or.jp> から所定の申込用紙をダウンロードし、下記の方法でお申し込みください。

- (1) Eメール [sanjyo@judo.or.jp](mailto:sanjyo@judo.or.jp)
- (2) F A X 03-3812-3995
- (3) 郵送 〒112-0003  
東京都文京区春日1-16-30 講道館本館5階  
公益財団法人全日本柔道連盟 企画課宛

### 会員期限

会員の有効期間は入会した月より1年間となります。

本連盟への賛助会費は、特定公益増進法人への寄附として取り扱われ、税制上の優遇措置の適用を受けることができます。

※詳しくは、全柔連事務局もしくは最寄りの税務署にお問合せください。

2021年6月末現在

## 賛助会員一覧(法人・団体)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 旭化成株式会社

株式会社東急ホテルズ ニッセイ保険エージェンシー株式会社 日本中央競馬会

学校法人IGL学園IGL医療福祉専門学校	愛知県実業柔道連盟	公益社団法人愛知県柔道整復師会	公益社団法人青森県柔道整復師会
株式会社内田組	SISビジョン株式会社	公益社団法人大阪府柔道整復師会	株式会社オオヤギ
株式会社オフィスコーポレーション	公益社団法人香川県柔道整復師会	公益社団法人神奈川県柔道整復師会	神奈川県柔道連盟警察地区
川崎市柔道協会	北関東総合警備保障株式会社	公益社団法人岐阜県柔道整復師会	京葉ガス株式会社
健心館島中道場	医療法人光仁会光仁会病院	宗教法人高念寺	光文堂株式会社
興和ティムス株式会社	興和ビルメンテナンス株式会社	公益社団法人埼玉県柔道整復師会	公益社団法人静岡県柔道整復師会
公益社団法人広島県柔道整復師会	湘南地区柔道協会	鈴木レディースクリニック	関商事株式会社
公益財団法人全国高等学校体育連盟柔道専門部	仙台接骨医療専門学校	善道館	株式会社ソーケン
株式会社大興	大和ハウス工業株式会社	医療法人社団高橋胃腸科内科医院	公益社団法人千葉県柔道整復師会
千葉県東部地区柔道会	株式会社千葉薬品	学校法人東海大学望星学塾	東京広告株式会社
公益社団法人東京都柔道整復師会	公益財団法人戸高育英会	公益社団法人栃木県柔道整復師会	公益社団法人長野県柔道整復師会
公益社団法人新潟県柔道整復師会	株式会社西鐵工所	日鉄ハイブライン&エンジニアリング株式会社	日本工学院八王子専門学校
公益社団法人日本柔道整復師会	公益財団法人日本中学校体育連盟柔道競技部	日本文化大学	学校法人花田学園日本柔道整復専門学校
公益社団法人兵庫県柔道整復師会	公益社団法人福岡県柔道整復師会	株式会社不動テトラ	株式会社ブレインズ・ネットワーク
公益社団法人北海道柔道整復師会	株式会社マスキンス増田金属工芸	公益社団法人宮城県柔道整復師会	公益社団法人山口県柔道整復師会
横須賀地区柔道協会	学校法人米田学園 米田柔整専門学校	有限会社林五	匿名24社

敬称略、地区順、五十音順

# 世界形選手権大会 結果 / World Championships Kata RESULTS

		優勝		準優勝		第三位	
		取	受	取	受	取	受
2009(H19) 10/17-18 マルタ共和国 バレッタ	投の形	近藤 克幸	大河内哲志	CMOCHO Raul	CAMACHO Roberto	SURLA Iulian	FLEISZ Aurelian
		日本		スペイン		ルーマニア	
	固の形	松本 裕司	中橋 政彦	GOICOECHAN DIA Juan	VILLAR Roberto	PROIETTI Stefano	DILELLO Stefano
		日本		スペイン		イタリア	
	柔の形	横山 悦子	大森 千草	VOLPI Ubaldo	CALDERINI Maurizi	S.OZZI Ilaria	FRITTOLI Marta
		日本		イタリア		イタリア	
極の形	竹石 憲治	植松 恒司	BLAS Fernando	CHUNGSEU Uchan	DE CERCE Giacomo	PADOVAN Pierluca	
	日本		スペイン		イタリア		
講道館 護身術	濱名 智男	山崎 正義	MAINENTI Daniele	FACCIOLI Andrea	JESUS Verano	MAXIMO Gonzales	
	日本		イタリア		スペイン		
2010(H22) 5/24-25 ハンガリー ブダペスト	投の形	大島 修次	鴨治 由貴	SURLA Iulian	FLEISZ Aurelian	CAMACHO Raul	CAMACHO Roberto
		日本		ルーマニア		スペイン	
	固の形	小室 宏二	高野 賢司	PAPARELLO Elio	RIPANDELLI Nicola	BAJELAN Mojtaba	ROUHANI ESFAHANI Reza
		日本		イタリア		イラン	
	柔の形	横山 悦子	大森 千草	VOLPI Ubaldo	CALDERINI Maurizio	SALARI Mohammad Hassan	SAHRAIYI Mohammad Reza
		日本		イタリア		イラン	
極の形	竹石 憲治	植松 恒司	BLAS PEREZ Fernando	CHUNG SEU Chan U	ROMANO Rocco	CASTANO Gaetano	
	日本		スペイン		イタリア		
講道館 護身術	濱名 智男	山崎 正義	MAINENTI Daniele	FACCIOLI Andrea	VOLPI Ubaldo	CALDERINI Maurizio	
	日本		イタリア		イタリア		
2011(H23) 6/14-15 ドイツ フランクフルト	投の形	坂本 道人	横山 喬之	NODEHI Mohammadali	FARZANEH HESARI Amir	FARIDIVOSUGH Fathollah	KARIMINASER Hamidreza
		日本		イラン		イラン	
	固の形	小室 宏二	高野 賢司	BAJELAN Mojtaba	ROUHANI ESFAHANI Sayed Reza	PROIETTI Stefano	DI LELLO Stefano
		日本		イラン		イタリア	
	柔の形	横山 悦子	大森 千草	SALARI Mohammad Hasan	SAHRAEI Mohammad Reza	ZAHARIA Alina	CHERU Alina
		日本		イラン		ルーマニア	
極の形	竹石 憲治	植松 恒司	VALINIA Amir	GHADERI GARAKANI Jafarali	MAHMOODI Seyed Hossein	ROSHANAIE Hassan	
	日本		イラン		イラン		
講道館 護身術	濱名 智男	山崎 正義	VOLPI Ubaldo	CALDERINI Maurizio	VERANO Jesus	GONZALEZ Maximo	
	日本		イタリア		スペイン		
2012(H24) 9/22-23 イタリア ボルデノーネ	投の形	坂本 道人	横山 喬之	LEE Sun Hyung	JO Min Ho	SURLA Iulian	FLEISZ Aurelian
		日本		韓国		ルーマニア	
	固の形	中山 智史	林 聖治	FREY Sebastian	CHOW Sei Kam	FREGNAN Andrea	MOREGOLA Stefano
		日本		ドイツ		イタリア	
	柔の形	横山 悦子	大森 千草	SOZZI Ilaria	FRITTOLI Marta	WIRTZ Emmanuel	VOINDROT Armelle
		日本		イタリア		フランス	
極の形	今尾 省司	清水 和憲	BLAS Fernando	CHUNG Seu Uchan	DE MAERTELEINE Dirk	INGHELBRECHT Christophe	
	日本		スペイン		ベルギー		
講道館 護身術	武田 武	宮崎 純一	VOLPI Ubaldo	CALDERINI Maurizio	VERANO Jesus	GONZALES Maximo	
	日本		イタリア		スペイン		
2013(H25) 10/19-20 日本 京都	投の形	LEE Sun Hyung	JO Min Ho	坂本 道人	横山 喬之	SURLA Iulian	FLEISZ Aurelian
		韓国		日本		ルーマニア	
	固の形	中山 智史	林 聖治	下野 龍司	大館 斗志爾	FREGNAN Andrea	MOREGOLA Stefano
		日本		日本		イタリア	
	柔の形	横山 悦子	大森 千草	Garcia Maneel	Picazo Vicente	Dax-Romswinkel	Loozen Ulla
		日本		スペイン		ドイツ	
極の形	今尾 省司	清水 和憲	BLAS Fernando	Uchan CHUNG	BEGA Stephane	MARQUES Gregory	
	日本		スペイン		フランス		
講道館 護身術	宮本 秀樹	渡辺 正喜	Kim Doughan	Seo Jaeseung	武田 武	宮崎 純一	
	日本		韓国		日本		
2014(H26) 9/20-21 スペイン マラガ	投の形	坂本 道人	横山 喬之	SURLA Iulian	FLEISZ Aurelian Ciprian	LEE Sunhyung	JO Minho
		日本		ルーマニア		韓国	
	固の形	中山 智史	林 聖治	FREGNAN Andrea	MOREGOLA Stefano	BAJELAN Mojtaba	ROUHANI ESFAHANI Seyed Reza
		日本		イタリア		イラン	
	柔の形	DAX-ROMSWINKEL Wolfgang	LOOSEN Ulla	横山 悦子	大森 千草	ZAHARIA Alina	CHERU Alina
		ドイツ		日本		ルーマニア	
極の形	竹石 憲治	植松 恒司	BARDIGARMOUDI Abdolvahab	ROUHOLLAHZADEH Seyedjashar	BLAS Fernando	CHUNG U Chan	
	日本		イラン		スペイン		
講道館 護身術	宮本 秀樹	渡辺 正喜	VOLPI Ubaldo	CALDERINI Maurizio	NAJAFI Mohammadhassan	KARIMINASER Alireza	
	日本		イタリア		イラン		

# 世界形選手権大会 結果 / World Championships Kata RESULTS

		優勝		準優勝		第三位	
		取	受	取	受	取	受
2015(H27) 10/19-20 オランダ アムステルダム	投の形	坂本 道人	横山 喬之	SURLA Iulian	FLEISZ Aurelian Ciprian	GILON Jean-Philippe	GILON Nicolas
		日本		ルーマニア		ベルギー	
	固の形	中山 智史	林 聖治	GOICOECHANDIA Juan Pedro	VILLAR Roberto	FREGNAN Andrea	MOREGOLA Stefano
		日本		スペイン		イタリア	
	柔の形	白野 恵	白野 光	DAX-ROMSWINKEL Wolfgang	LOOSEN Ursula	ZAHARIA Alina	CHERU Alina
		日本		ドイツ		ルーマニア	
極の形	竹石 憲治	植松 恒司	BARDIGARMROUDI Abdolvahab	ROUHOLLAHZADEH Seyedjashar	JEUFFROY Michel	JEUFFROY Laurent	
	日本		イラン		フランス		
講道館 護身術	宮本 秀樹	渡辺 正喜	VOLPI Ubaldo	CALDERINI Maurizio	KIM Donghan	SEO Jaeseung	
	日本		イタリア		韓国		
2016(H28) 10/1-2 マルタ共和国	投の形	坂本 道人	横山 喬之	CAMACHO Raul	CAMACHO Roberto	UCHIDA Wagner	FERREIRA Paulo
		日本		スペイン		ブラジル	
	固の形	中山 智史	林 聖治	PROIETTI Stefano	VARAZI Alessandro	GOICOECHANDIA Juan Pedro	VILLAR Roberto
		日本		イタリア		スペイン	
	柔の形	DAX-ROMSWINKEL Wolfgang	LOOSEN Ursula	高野 恵	白野 光	WIRTZ Emmanuel	VOINDROT Armelle
		ドイツ		日本		フランス	
極の形	JEUFFROY Michel	JEUFFROY Laurent	竹石 憲治	植松 恒司	BEGA Stephane	MARQUES Gregory	
	フランス		日本		フランス		
講道館 護身術	宮本 秀樹	渡辺 正喜	SALARI Mohammad Hasan	SAHRAEI Mohammad Reza	SATO Marika	POLO Fabio	
	日本		イラン		イタリア		
2017(H29) 10/6-7 イタリア サルディーニャ島	投の形	坂本 道人	横山 喬之	SURLA Iulian	FLEISZ Aurelian	NOUDEHI Mohammadali	FARZANEH HESARI Amir
		日本		ルーマニア		イラン	
	固の形	中山 智史	林 聖治	PROIETTI Stefano	VARAZI Alessandro	BAJELAN Mojtaba	ROUHANI ESFAHANI Seyed reza
		日本		イタリア		イラン	
	柔の形	石田 桃子	石田真理子	DAX-ROMSWINKEL Wolfgang	LOOSEN Ursula	TARABELLI Giovanni	TARABELLI Angelica
		日本		ドイツ		イタリア	
極の形	JEUFFROY Michel	JEUFFROY Laurent	竹石 憲治	植松 恒司	BARDIGARMROUDI Abdolvahab	ROUHOLLAHZADEH Seyedjashar	
	フランス		日本		イラン		
講道館 護身術	池田 孝生	酒巻 文孝	SALARI Mohammad hasan	SAHRAEI Mohammad reza	VOLPI Ubaldo	CALDERINI Maurizio	
	日本		イラン		イタリア		
2018(H30) 10/15-16 メキシコ カンクン	投の形	UCHIDA Wagner Tadashi	FERREIRA Paulo Roberto	GOMEZ Edwim	RESTREPO Gerardo	FAES Erik	NEUMANN Niels
		ブラジル		コロンビア		オランダ	
	固の形	FREGNAN Andrea	CORCIONI Pietro	FOURMAUX Nicolas	NGUYEN VAN LOC Jean daniel	GILON Nicolas	GILON Jean Philippe
		イタリア		フランス		ベルギー	
	柔の形	石田 桃子	石田真理子	ZAHARIA Alina	CHERU Alina	BUGO Laura	CHECCHI Carlotta
		日本		ルーマニア		イタリア	
	極の形	MARQUES Gregory	BEGA Stephane	FRANSEN Mischa	FRANSEN Yoeri	VALLIERES Martin	ROFFI Patrick
		フランス		オランダ		カナダ	
	講道館 護身術	BERGMANN Sebastian	GOLDSCHMIDT Jennifer	KARAIM Jackson	KARAIM Maxwell		
		ドイツ		カナダ			
投の形	坂本 道人	横山 喬之	COLLINI Mauro	RONDININI Tommaso	MARIN GOMEZ NIEVES Antonio	AYALA TORRADO Eduardo	
	日本		イタリア		スペイン		
固の形	中山 智史	林 聖治	GOICOECHANDIA HUETE Juan pedro	VILLAR AGUILERA Roberto	CESTER Massimo	MAURI Davide	
	日本		スペイン		イタリア		
柔の形	DAX-ROMSWINKEL Wolfgang	LOOSEN Ursula	TARABELLI Giovanni	TARABELLI Angelica	WIRTZ Emmanuel	VOINDROT Armelle	
	ドイツ		イタリア		フランス		
極の形	竹石 憲治	植松 恒司	JEUFFROY Michel	JEUFFROY Laurent	VICENS SIQUIER Miquel angel	VICENS SIQUIER Antoni	
	日本		フランス		スペイン		
講道館 護身術	池田 孝生	酒巻 文孝	ENGELEN Yves	CLOSSET Dimitri	OBRADOR MAS Antoni	MARCOS RODRIGUEZ Pedro	
	日本		ベルギー		スペイン		
2019(R01) 9/4-5 韓国 忠州	投の形	UCHIDA Wagner Tadashi	FERREIRA Paulo Roberto	ESCOBAR Glatenferd	BERMUDEZ Miguel	COLLINI Mauro	RONDININI Tommaso
		ブラジル		コロンビア		イタリア	
	固の形	中山 智史	林 聖治	FOURMAUX Nicolas	NGUYEN VAN LOC Jean daniel	FREGNAN Andrea	CORCIONI Pietro
		日本		フランス		イタリア	
	柔の形	DAX-ROMSWINKEL Wolfgang	LOOSEN Ursula	ZAHARIA Alina	CHERU Alina	TARABELLI Giovanni	TARABELLI Angelica
		ドイツ		ルーマニア		イタリア	
極の形	竹石 憲治	植松 恒司	JEUFFROY Michel	JEUFFROY Laurent	BARDIGARMROUDI Abdolvahab	ROUHOLLAHZADEH Seyedjashar	
	日本		フランス		イラン		
講道館 護身術	池田 孝生	酒巻 文孝	OBRADOR MAS Antoni	MARCOS RODRIGUEZ Pedro	VOLPI Ubaldo	CALDERINI Maurizio	
	日本		スペイン		イタリア		

# 世界形選手権大会 結果 / World Championships Kata RESULTS

		優勝		準優勝		第三位	
		取	受	取	受	取	受
2021(R03) 10/26-27 ポルトガル リスボン	投の形	FAES Erik	NEUMANN Niels	WSCOBAR Glatenferd	BERMUDEZ Miguel	MARIN GOMEZ NIEVES Antonio	AYALA TORRADO Eduardo
		オランダ		コロンビア		スペイン	
	固の形	下野 龍司	大館斗志爾	FREGNAN Andrea	CORCIONI Pietro	GILON Nicolas	GILON Jean Philippe
		日本		イタリア		ベルギー	
	柔の形	石田 桃子	石田真理子	DAX ROMSWINKEL Wolfgang	LOOSEN Ulla	ZAHARIA Alina	CHERU Alina
		日本		ドイツ		ルーマニア	
	極の形	JEUFFROY Michel	JEUFFROY Laurent	MARQUES Gregory	BEGA Stephane	VICENS SIQUIER Miquel angel	VICENS SIQUIER Antoni
		フランス		フランス		スペイン	
	講道館 護身術	池田 孝生	酒巻 文孝	JAUME Claude	BENARD Brice	GONCALVES Pedro	MOREIRA Paulo
		日本		フランス		ポルトガル	

---

memo

---

# 柔道界から **パワハラ** をなくそう



## 1. パンフレット作成の目的

「パワハラ」とは、「パワー・ハラスメント」の略称ですが、ある環境において、活動上、立場や地位、人間関係の優位性を利用して、相手に肉体的かつ精神的な苦痛を与える行為のことを意味します。パワハラを定義を定めた法律や、パワハラを規制する法律は存在しません。しかし、近年職場におけるいじめやパワハラは社会問題化し、スポーツ界、柔道界においても対処すべき重要な課題となっています。

そこで、柔道界におけるパワハラの問題に対処することを目的として、このたびパンフレットを作成しました。厚生労働省のパワハラの種類を参考に、柔道界におけるパワハラの実例を拾い集めてみました。このパンフレットが、柔道関係者全員にとって、改めてこの問題を考え直すきっかけとなれば幸いです。

## 2. 柔道界におけるパワハラの定義

厚生労働省のパワハラを定義に当てはめてみると、柔道界におけるパワハラは、次のように説明することができます。

■同じ所属（連盟・協会・柔道クラブ・道場）で活動する者に対して、活動上の地位や人間関係などの優位性を背景に、それぞれの役割における適正な範囲を超えて、肉体的・精神的苦痛を与える行為、または活動環境を悪化させる行為。

また、「活動上の地位や人間関係などの優位性」とは、以下の中で生じます。

- ①連盟・協会等の役員とメンバーとの関係性
- ②指導者（コーチ、監督）と選手との関係性
- ③部活動における顧問と部員との関係性
- ④クラブ・道場内の先輩後輩の関係性

## 3. 「指導者と選手」の関係性を問い直す

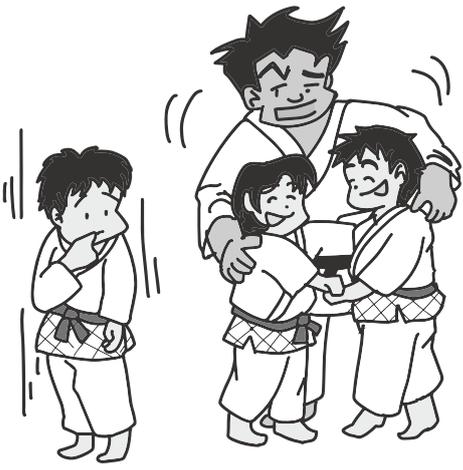
体罰・暴力的指導やセクシャル・ハラスメントといったハラスメント、そしてパワハラが生じる根本的な原因として、他者との不健全かつ不適切な関係性があります。

■指導者と選手は、「教える者」と「教えられる者」という立場の違いはありますが、人間としては対等です。

指導者は、指導スキルや知識、経験などを含め、役割においては権威性（優越性）を有していますが、その健全かつ適切な使用が求められています。相手を自立した人格として尊重する態度はつねに指導者側に求められる責務であることを自覚しましょう。

このパンフレットを通して、是非、今一度選手との関係を見つめ直してみてください。

# 柔道界におけるパワ

分類	内 容
<b>① 身体への攻撃</b>	<p><b>暴行・傷害を発生させる行為</b> 必要以上に強く投げたり、マイッタをしても絞め技などやめない行為も含まれる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習を休みがちの生徒に対し、顧問自らが乱取りの相手となり強く投げたり、覆いかぶさり絞め技を施して圧迫した。生徒が「参った」をしても簡単には離さず、長時間乱取りを続けた。(結果、急性硬膜下血腫等の重大事故に繋がることもある)</li> <li>・生徒が絞め技・関節技に弱いことを懸念した指導者が、「自分たちもこの厳しさを乗り越えて強くなった」という信念で、乱取り稽古中に何度も生徒を絞め技で失神させた。</li> <li>・保護者から「厳しく指導してほしい」と頼まれている事を盾に指導者が、試合で負けた生徒の頭を叩き、ビンタをした。</li> <li>・日頃から指導に従わない長髪の生徒が練習に遅刻したので、「遅刻の罰」と称して、みんなの前で頭を坊主刈りにした。</li> </ul>  <p>「参った」をしても離さない</p>
<b>② 精神的な攻撃</b>	<p><b>脅迫・名誉棄損・侮辱・暴言・ひどい叱責</b> 人格を否定するような精神的ダメージを与える言葉や、怒鳴る行為も含まれる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試合に負けて応援席に戻ってきた選手に対し、指導者が公衆の面前で、丸めたプログラムで選手の頭を叩きながら、「何やってんだ、コラァ!」、「お前のせいで負けたんだ」、「みんなに謝れ」等、執拗に暴言を繰り返した。</li> <li>・ある指導者は日頃から周囲に対し、「世の中の風潮がどうなろうと、うちの道場は必要な体罰は行う」と公言している。</li> <li>・1年生の選手が無断で練習を休んだ。指導者が「連帯責任」という名目で、1年生全員に交代で寮の昼間の電話当番を強制したため、1年生の選手たちは、学生の本分である授業に出ることが出来なくなった。</li> <li>・選手が乱取をしていると、指導者が組んでいる相手を変更させる。誰とも練習できない。アドバイスを求めても「お前にはしない」と言われる。挨拶しても無視する。</li> </ul>  <p>暴言・ひどい叱責</p>
<b>③ 人間関係の切り離し</b>	<p><b>隔離・仲間外し・口をきかない等の行為</b> 道場内での無視や、練習相手をしないなどの行為も含まれる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ある道場で指導者が言うことをきかない一人の道場生だけに、元立ち(基立ち)をさせないような"指導"をしたため、その子は周りからも浮いた存在となり、徐々に道場での居場所がなくなり、とうとう柔道をやめてしまった。</li> <li>・ある学校の柔道部で、先生から急な連絡を受けた上級生がその日の練習場所と練習時間の変更を、日頃仲の悪い一部の下級生にだけわざと連絡をしなかった。 (他競技の例)</li> <li>・ある指導者が選手に対し、「俺の前でよく練習ができるな」、「あんな身勝手な奴とは練習をするな」等の理不尽な発言を繰り返し、選手を孤立させた。</li> </ul>  <p>仲間外しして、孤立させる</p>

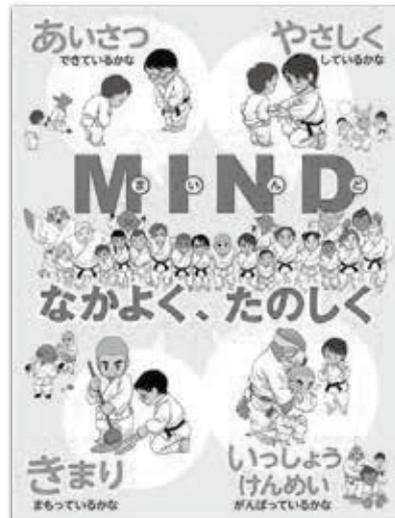
# ハラ (最近の主な実例)

分類	内 容
<p><b>④ 過大な要求</b></p>	<p>活動上明らかに不要なことや実行不可能なことを要求すること 非合理的で不健全なトレーニングや稽古を強制させることも含まれる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ある指導者は、試合で負けると人が変わったように不機嫌になり、次の練習時に、腕立て伏せ千回、スクワット千回、打ち込み千回、乱取り2時間等の、過激な練習をさせるので、生徒や保護者は怪我をしないかととても不安だが、怖くて言いませない。</li> <li>ある指導者は、なかなか技の要領を覚えないう生徒に対していらだちを隠せず、「何故こんな簡単なことができないんだ」「ろくに柔道の稽古ができないやつは、グラウンドでも走れ」とつきはなし、夏の暑い日に2時間もほったらかしでランニングを続けさせた為、熱中症になるところだった。</li> </ul>  <p>意味のない過度な練習</p>
<p><b>⑤ 過小な要求</b></p>	<p>活動上の合理性なく、程度の低いことをさせる、活動をさせない等の行為 たとえば、合理的な理由なく1人だけ異なる稽古を強制したり、稽古をさせないなどの行為</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ある指導者は、覚えの悪い生徒を見限り、「お前は乱取りをしなくていい。じゃまだ」と、まともに相手をしない。</li> <li>反抗的な道場生に対し、みんなが見ている前で「俺の言うことが聞けないなら、道場から出ていけ」と追い出したきり、その後何のフォローもしなかった。(その子は別の道場に移ろうとしたが、移籍を妨害された。)</li> <li>新しく来た指導者は、生徒が少しでも疲れた様子を見せると、口癖のように「やる気がないなら隅で立っとな」とか、「正座でもしてろ」と冷たく言い放つので、せっかく柔道を習いたくて道場に来ている子供たちはだんだんとやる気をなくしている。</li> </ul>  <p>正座を強要し、練習させない</p>
<p><b>⑥ プライバシーの侵害</b></p>	<p>私的事項に過度に立ち入ること 家族関係や恋人の有無、休日の予定を尋ねるなど、私的領域に踏み込むような行為も含まれる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ある指導者は、柔道の指導とはまったく関係ないはずなのに、必ず親の職業を聞きだし、職によっては自分に便宜を図るように仕向けさせるので評判が悪い。先日も、生徒の親が焼肉屋をやっていると知り、コーチ仲間大勢で押しかけ、大量飲酒飲食した上、「日頃子供がお世話になっている”親の弱みにつけこんで、暗に無償提供をほめかした。</li> <li>ある先輩が、高校柔道部の強い上下関係を利用して、新入生のプライバシー (恋人、家族関係など) に立ち入ってくるので、後輩たちは皆まいてる。しかし、先輩の柔道の実力はすごいし、柔道はやめたくないなので、監督に相談することもできない。</li> </ul>  <p>また、先生から LINE 来たよ</p>

## 柔道の真の目的は「人間教育」



●柔道 MIND 活動のねらいを、今一度考えてみましょう。



### 嘉納治五郎遺訓より

柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修行は、攻撃防御の練習によって身体精神を鍛錬修養し、斯道の真髓を体得する事である。そうして是に由って己を完成し世を補益するが、柔道修行の究竟の目的である。

【解説】 嘉納師範は、柔道修行の目的は、攻撃・防御の練習によって身体を鍛錬して強健にし、精神の修養につとめて人格の完成をはかり、社会に貢献することであると示されています。

### 困った時はご相談ください

万が一、パワハラやハラスメントの被害者となってしまった場合には、まず心から信頼できる第三者に相談し、都道府県柔道連盟、全日本柔道連盟に通報をして下さい。不利な立場に追い込んだり、個人を特定しその情報を公表するようなことは絶対にいたしません。相談先・通報先を以下に記載しましたが、対応・判断に迷う場合は、お電話で全柔連（倫理推進室）にご相談下さい。（代表：03-3818-4199）

#### ●都道府県柔道連盟

各連盟の「コンプライアンス担当」にご相談下さい。

#### ●全日本柔道連盟「柔道目安箱」

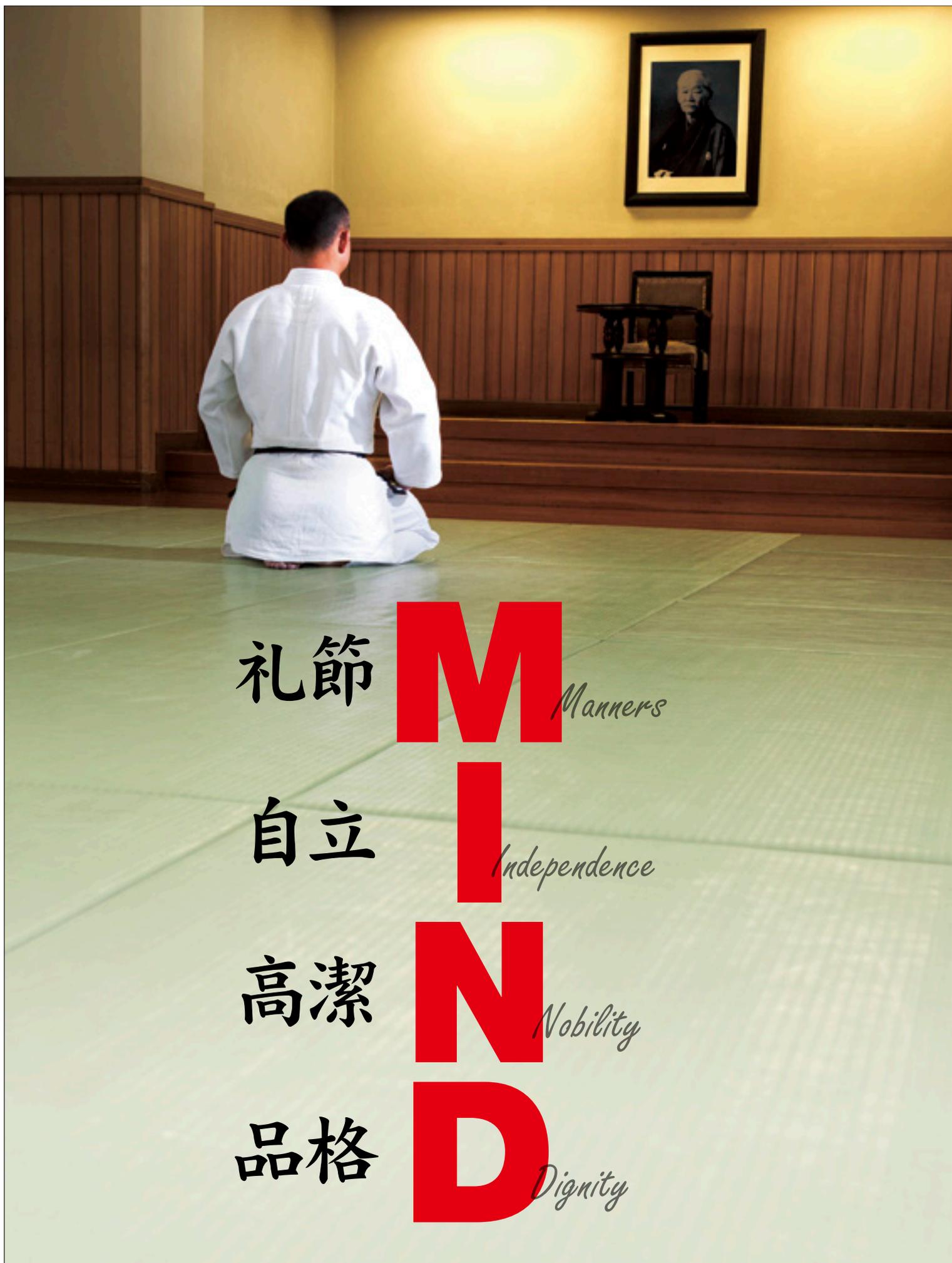
対象者：どなたでも。 受付方法：封書またはメール。  
全日本柔道連盟ホームページ（<http://www.judo.or.jp>）に掲載されている「投稿フォーム」にご記入の上、ご送付下さい。（ホームページ内で、「柔道目安箱」等で検索できます。）

- 郵送先：〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 全日本柔道連盟 倫理推進室「柔道目安箱」係
- メール送付先：rinri@judo.or.jp

#### ●全日本柔道連盟「内部通報制度（コンプライアンスホットライン）」

対象者：全柔連登録会員のみ。  
受付方法：封書または電子メール。  
全日本柔道連盟ホームページ掲載の「受付票」（「内部通報制度」等で検索）にご記入の上、ご送付下さい。  
窓口を2ヶ所設けました。（メールの場合、窓口担当者からの返信を受信可能な状態にしてください。）

- 郵送先：〒105-0003 東京都港区西新橋1-21-8 弁護士ビル807号  
あたらし橋法律事務所 赤堀文信弁護士気付 全日本柔道連盟コンプライアンスホットライン
- メール送付先：akahori@atarashibashi.com
- 郵送先：〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2 新日石ビルディング9F  
宏和法律事務所 山田奈美香弁護士気付 全日本柔道連盟コンプライアンスホットライン
- メール送付先：judo-n.yamada@kowa-law.com



礼節

**M**

*Manners*

自立

**I**

*Independence*

高潔

**N**

*Nobility*

品格

**D**

*Dignity*



公益財団法人 全日本柔道連盟

ケガは接骨院(整骨院)へ

日本が認めて百年の資格

# 柔道整復伝統の技術

大正九年、日本の柔道家たちは一度とだえた日本古来の施術法、柔道整復術を復活させました。あれから百年がすぎ、柔道整復術は日本が認めた資格として現代医療に貢献しています。私たち公益社団法人 日本柔道整復師会は、独自の伝統を守りながら新しい時代設計を念頭にモラルの低下を防ぎ、未来への改革を進めてまいります。

# 匠の技 伝承プロジェクト

ここに

公益社団法人 日本柔道整復師会は

「匠の技」復活宣言をするものである。

確かな技術・知識・誇り、さらに公益という

モラルを備え持った柔道整復師が地域で施術にあたり、社会に貢献できる仕組みの構築を必ず実現します。

公益社団法人 日本柔道整復師会 会長

工藤 鉄男

## “匠の技 伝承プロジェクト”

公益社団法人日本柔道整復師会「柔道整復術公認100年記念」の一環として、日本伝統医療継承事業による骨折、脱臼の徒手整復・固定、後療及び超音波観察装置(エコー)実技研修を各地域で行い、確かな知識と技術を継承し後世に伝承できる柔道整復師の育成を目指します。



公益社団法人  
日本柔道整復師会

〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9  
電話 03-3821-3511 (代表)

